

配付資料一覧

資料	資 料 名	備考
1	次 第	
2	出席者名簿	
3	席次表	
4	鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会設置要綱	
5	資料－1 鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会説明資料	
6	資料－2 鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会 各施設の整備内容	
7	参考資料 鶴岡市赤川かわまちづくりワークショップ意見一覧	

第3回鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会

■日 時：令和3年2月18日(木) 13:30～

■場 所：鶴岡市役所別棟2号館21.22.23会議室

次 第

1. 開 会

2. 委嘱状の交付

3. あいさつ

4. 報告・協議

(1) これまでの経過報告について

(2) 整備内容について

(3) 今後のスケジュールについて

5. その他

6. 閉 会

第3回鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会 出席者名簿

令和3年2月18日（木）13：30～
市役所別棟2号棟21. 22. 23会議室

《委員》

	氏名	役職	出欠	備考
1	渡邊 一哉	山形大学農学部 准教授	○	会長
2	水野 重紀	水野野生生物調査室 主宰	○	
3	石原 純一	鶴岡商工会議所 観光部会副会長 鶴岡桜の会会長、鶴岡観光協会会長、荘内神社宮司	○	
4	黒井 晃	赤川漁業協同組合 代表理事組合長	○	
5	山田 鉄哉	赤川鮭漁業生産組合 組合長理事	○	
6	佐々木 邦夫	第五学区コミュニティ振興会 副会長 朝陽町町内会 会長	○	
7	佐藤 しおり	朝陽第五小学校PTA 前代表 鶴岡フィットネス協会会長	○	
8	渡邊 真理	育児サークルおもちゃ箱 前リーダー 鶴岡市すこやかな子どもを生み育てるネットワーク推進委員	○	
9	佐藤 友介	赤川花火大会実行委員会役員	○	
10	佐藤 利浩	NPO法人鶴岡市体育協会 理事	○	
11	阿蘇 裕矢	東北公益文科大学 非常勤講師 NPO法人公益のふるさと創り鶴岡 理事	○	
12	渡辺 理絵	山形大学農学部 准教授	○	
13	浅賀 大輝	大半田町内会代表 株式会社浅賀建設 取締役統括部長	欠席	
14	菅井 惣一	細谷区長	○	
15	佐藤 幸一	三千刈区長	○	
16	菅原 元	馬渡区長	○	
17	中村 哲也	鶴岡まちづくり塾 前メンバー	○	
18	五十嵐 大輔	山形県建設業協会鶴岡支部青年部長 小野寺建設㈱ 専務取締役	○	
19	土田 一彦	日本造園建設業協会山形県支部副支部長 ㈱土田造園 代表取締役	○	

《アドバイザー》

1	佐藤 俊明	国土交通省酒田河川国道事務所 副所長	欠席	
---	-------	--------------------	----	--

<国土交通省出席者>

1	武田 桂輔	国土交通省酒田河川国道事務所 工務第一課長	○	
2	布川 貴幸	国土交通省酒田河川国道事務所 赤川出張所長	○	
3	伊藤 建一	国土交通省酒田河川国道事務所 工務第一課専門官	○	

<鶴岡市出席者>

1	村上 良一	建設部長	○	
2	岡部 信宏	建設部都市計画課長	○	
3	佐藤 尚子	市民部環境課長	○	
4	本間 明	農林水産部参事兼農山漁村振興課長	○	
5	剣持 健志	商工観光部観光物産課長	○	
6	齋藤 匠	教育委員会スポーツ課長	代理	課長補佐 松田 重和
7	成田 譲	藤島庁舎産業建設課長兼エコタウン室長	代理	課長補佐 山口 登志明
8	秋葉 敏郎	羽黒庁舎産業建設課長	代理	産業建設主査 野口 正一
9	高橋 修也	榎引庁舎産業建設課長	○	
10	本間 仁	建設部都市計画課公園緑地係長	○	
11	荒木 正行	建設部都市計画課公園緑地係専門員	○	
12	伊藤 健	建設部都市計画課公園緑地係主任	○	

(コンサル)

1	近藤 元裕	三協コンサルタント㈱	○	
2	酒井 里佳子	三協コンサルタント㈱	○	

第3回 鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会 席次表(敬称略)

R3. 2. 18(木) 鶴岡市役所別棟2号棟21. 22. 23会議室

出入口

出入口

出入口

スクリーン

山形大学農学部
准教授
渡邊 一哉

会長

水野野生生物調査室
主宰
水野 重紀

鶴岡商工会議所
観光部会副会長
石原 純一

赤川漁業生産組合
代表理事組合長
黒井 晃

赤川鮭漁業生産組合
組合長理事
山田 鉄哉

第五学区コミュニティ振興会
副会長
佐々木 邦夫

朝陽第五小学校
前PTA代表
佐藤 しおり

育児サークルおもちゃ箱
前リーダー
渡邊 真理

赤川花火大会実行委員会
役員
佐藤 友介

NPO法人鶴岡市体育協会
理事
佐藤 利浩

東北公益文化大学
非常勤講師
阿蘇 裕矢

山形大学農学部
准教授
渡辺 理絵

細谷地区
区長
菅井 悠一

三千刈地区
区長
佐藤 幸一

馬渡地区
区長
菅原 元

鶴岡まちづくり塾
前メンバー
中村 哲也

山形県建設業協会鶴岡支部
青年部長
五十嵐 大輔

日本造園建設業協会山形県支部
副支部長
土田 一彦

国土交通省
酒田河川国道事務所
工務第一課長

国土交通省
酒田河川国道事務所
赤川出張所長

国土交通省
酒田河川国道事務所
工務第一課専門官

スクリーン

公園緑地係専門員

公園緑地係専門員

都市計画課長

建設部長

公説明緑地係長

公説明緑地係主任

産業黒庁設舎課

産業黒庁設舎課

産藤島庁設舎課

スポーツ課

観光物産課

農山漁村振興課

環境課

傍聴席

傍聴席

三協コンサル

三協コンサル

三協コンサル

産楯庁設舎課

鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会設置要綱

(設置)

第1条 鶴岡市赤川かわまちづくり計画を推進し、そのために必要な事項を、各分野の主体が協議調整し、また施策の評価と必要に応じて計画の見直し等を行うことを目的に、鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は次の事項を協議調整する。

- (1) 鶴岡市赤川かわまちづくりの推進に係る具体的な施策とその実現方策に関する事。
- (2) 施策の実施状況の評価、計画の点検及び見直しに関する事。
- (3) その他、鶴岡市赤川かわまちづくりの推進に関する事。

(組織)

第3条 協議会は、委員21名以内をもって組織する。

2 協議会の委員は、次の各号に掲げる者の内から市長が委嘱する。

- (1) 有識者
- (2) 関係団体等の代表者又は役員
- (3) 公募
- (4) 前号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

3 協議会には、会長1名を置く。

4 会長は、委員の互選により選出し、協議会を代表する。

5 会長が不在となるとき、あるいは事故のときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 増員により選任された委員の任期は、現任者の残任期間とする。

(協議会)

第5条 協議会は、会長が招集し、協議会の議長となる。

2 協議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。

3 協議会は、委員のほかにアドバイザーを置くことができる。

4 会長は、必要に応じ、アドバイザーに対し会議への出席を求め、意見を聴くことができる。

5 会長は、必要があると認めるときは、委員及びアドバイザー以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、建設部都市計画課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は会長が定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和元年5月7日から施行する。
- 2 この要綱は、協議会の目的達成をもって廃止する。
- 3 この要綱は、令和3年2月9日から施行する。

第3回 鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会 説明資料

日時: 令和3年2月18日(木) 13:30~

場所: 鶴岡市役所別棟2号棟21. 22. 23会議室

令和2年度の経過報告

期 日	内 容
令和2年7月11日	第1回赤川かわまちづくりワークショップ(20名参加) ○現地視察(上・下流域) ○整備位置・形状(規格)等の確認(下流域:赤川河川緑地) ○整備項目の課題及び解決策等の意見交換(上流域:櫛引地域)
令和2年8月～11月	赤川の水辺空間を活用した社会実験(4事業者、新規1・継続3) ○4月中旬からの活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、社会実験を中止
令和2年10月20日	第2回赤川かわまちづくりワークショップ(23名参加) ○第1回ワークショップの結果報告 ○上・下流域の意見結果報告に対する整備案に関する意見聴取 ○PR方法に関する意見交換
令和3年2月18日	第3回赤川かわまちづくり推進協議会(18名出席) ○経過報告について ○整備内容の確認について(下流域) ○今後のスケジュールについて



第1回ワークショップ(7.11)



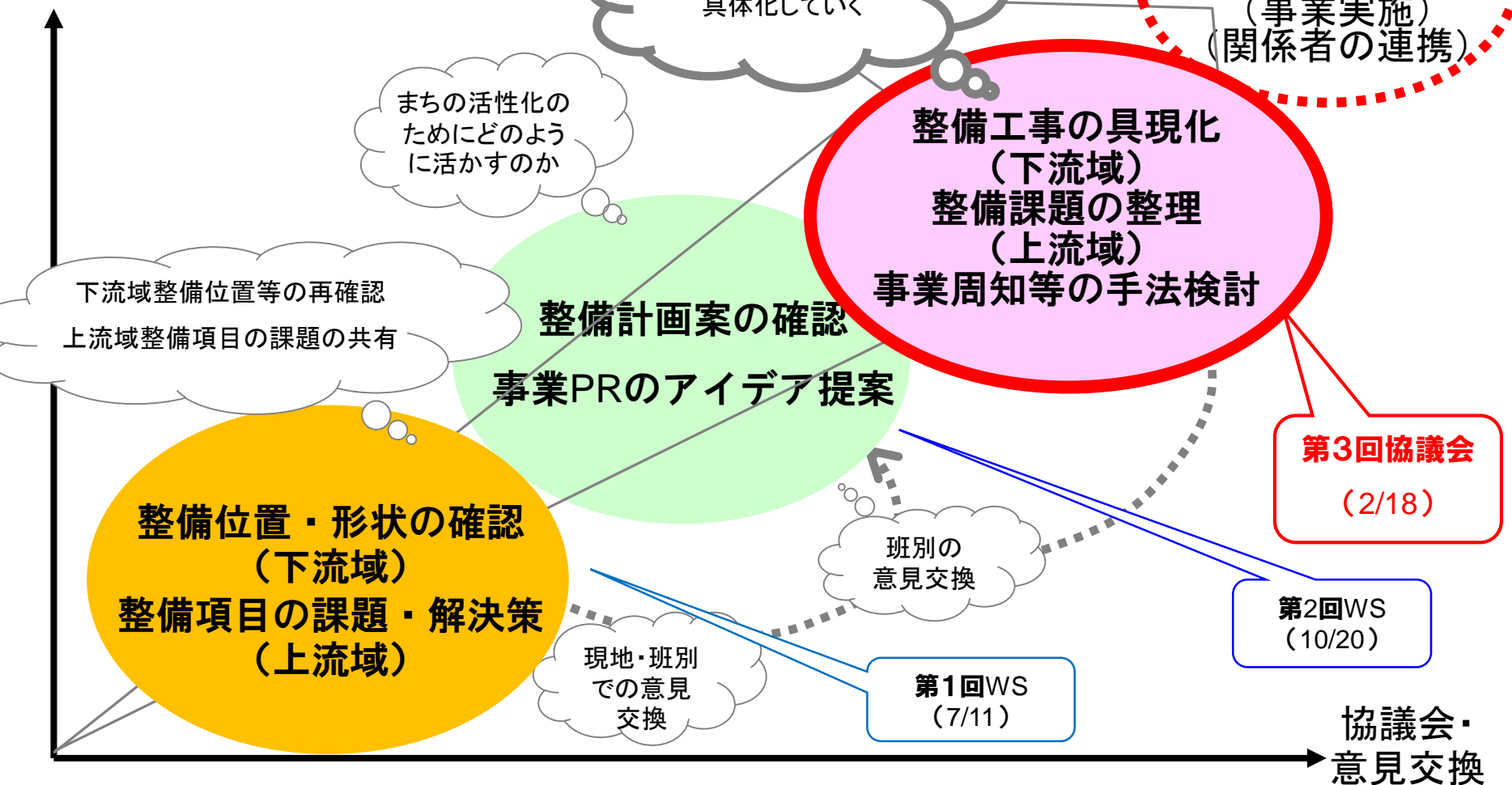
第2回ワークショップ(10.20)



社会実験活動状況(10.3)

●下流域の整備内容の決定、上流域の整備項目の課題整理、事業の周知(PR)について、市民と協働のもと段階的に進めてきたもの。

共通認識・一体化
かわまちの熟度(活性化)



令和2年度の経過報告

赤川河川緑地 冠水状況 令和2年7月28日(火)16:00 頃撮影

《主な被害》

- ・サッカーゴール流出
 - ・野球場A 外野フェンス倒壊
 - ・木杭・保安用ロープ倒壊
- ※ 11月中旬復旧完了

《ボランティア作業》

- 利用団体・高校生
- ・漂着物の収集
 - ・野球場のフェンス起こし



第1回ワークショップの概要報告(7/11 開催)

現地視察⇒ ①下流域(赤川河川緑地)及び上流域(櫛引地域)

意見交換⇒ ② **整備位置・形状**・(規格)、**整備順番**の確認(下流域)

整備項目案の課題と解決策等の意見交換(上流域)

※ 整備項目の優先順位及び形状(規格)については、選択方式にて実施

下流域

<主な意見>

整備位置について

<対応>

①遊具

⇒遊具の間隔を狭くし、人が集まりやすいところ(駐車場付近)に集約したらどうか。

②堤防階段、堤防坂路(スロープ)

⇒丁字路交差点からアクセスできる経路を設けたらどうか。

①遊具

⇒人の集まる駐車場付近広場に集約し、使用方法等を記載した案内看板を設置。

②堤防階段、堤防坂路(スロープ)

⇒丁字路交差点付近から堤防に上がる階段・坂路整備の検討を行う。

整備項目の優先順位について

①親水護岸

⇒安全対策を講じた上で、川を身近に感じられるようにしたらどうか。

②園路・駐車場舗装

⇒安全対策を講じたらどうか。

①親水護岸

⇒注意喚起看板を設置し、安全対策の強化を図る。

②園路・駐車場舗装

⇒川の増水を踏まえ、安全な避難路を確保するため、優先的に整備を進める。

下流域

<主な意見>

整備項目の形状について

<対応>

①照明灯(ポール式照明灯)

⇒照射範囲が広い方がよいのでは。

②トイレ(多目的トイレ)

⇒(男子用 小便器2+大便器、女子用大便器2)⇒男女別の方がよい。

③水栓(流し台タイプ)

⇒(芋煮会で使用できるもの)⇒デザインがよい。使いやすいから。



①照明灯

⇒照射範囲が広く、桜への影響が少ない形状で整備する。

②、③トイレ、水栓

⇒利用実態に合わせた、形状や配置を引き続き検討する。

第1回ワークショップの概要報告(7/11 開催)

上流域

<主な意見>

職種毎の課題について

<対応>

①園路

⇒交通量が少ない通路は砂利、利便性や駐車場アクセスを考慮したらどうか。

②駐車場・遊具

⇒桜づつみが見れる整備、駐車場の導線上に遊具を設置したらどうか。

③親水護岸

⇒飛び石や吊り橋などの対岸にいける工夫や注意喚起看板や救命浮き輪を設置したらどうか。

④河畔整備

⇒川面が見えるようにし、一定間隔で複数本(100m)残して整備したらどうか。



①園路、②駐車場・遊具

⇒導線やアクセス等を考慮しながら、園路・駐車場等の整備の検討を行う。

③親水護岸

⇒川に近づくための安全対策の具体化を進める。

④河畔整備

⇒生態系や景観の向上に配慮しながら、河畔整備(樹木伐採)を行う。

第2回ワークショップの概要報告(10/20 開催)

①第1回ワークショップの意見を集約し、作成された**整備内容の確認**と**計画案**の共有

②赤川かわまちづくり事業の**PR方法**についての意見交換

下流域

<主な質問・意見>

整備計画案について

<対応>

■質問

・「トイレ」・「水栓」

Q: **利用頻度・形態**について考慮するとは？

・「木製ベンチ」

Q: **耐久性**はどのようになるのか？

■意見

①フェンス等設置

⇒子ども・自由広場と河川との段差があり、**落下防止**のため必要では。

②立入防止柵・ネット設置

⇒親水エリアは入水するため、**危険個所**については設置が必要では。

③照明灯の設置

⇒夜間駐車も多いため、**防犯上**必要では。

・「トイレ」・「水栓」

A: 利用団体の**利用実態等**を考慮した上で整備を検討する。

・「木製ベンチ」

A: 再生木材など**耐久性**に優れたベンチの設置を検討する。

①フェンス等設置

②立入防止柵・ネット設置

⇒川へ近づきやすくするための**安全対策**の検討を行う。

③照明灯設置

⇒**防犯対策**を踏まえた照明灯の設置を検討する。

上流域

<主な質問・意見>

整備計画案について

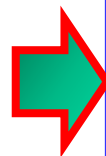
<対 応>

■ 質問

Q: 王祇橋からの進入路拡幅はどのようになるのか？

■ 意見

- ・中州まで行くための**安全対策**が必要。
- ・すれ違い走行が可能でも、**道幅が狭い**ので道路拡幅をした方がよい。
- ・**支障木**を伐採した方がよい。



A: **拡幅部分**については、**地権者**など関係者との交渉が必要となる。

主に**道路改良・安全対策・景観**に関する意見が多く見受けられたことを踏まえ、より具体的な整備内容や設置方法などの検討を関係者で進める必要がある。

第2回ワークショップの概要報告(10/20 開催)

赤川かわまちづくり事業の認知度はまだ低いことが想定され、そのため地域への周知と関心を高め、自主的に実行する団体が必要であることから、今後、自主的な団体の立上げに向けた参考資料とするため、アンケート調査にご協力をいただいたもの。

- ◆調査期間：令和2年9月中旬～10月中旬
- ◆回収数：9団体（配布34団体 回収率26%）
- ◆認知度：知っている 5団体、ほとんど知らない 4団体
- ◆実行組織への参画：可能 4団体（組織内への声掛け程度）
困難・不可 5団体（所属している組織の目的との相違がある）

主な意見

周知や役割の明確化に関する意見が多く見受けられた。

- ・増水の危険もあることから、注意事項などの周知徹底が必要。
- ・維持管理について、行政・市民の役割を明確にして参画の体制をつくるべき。

- 《考察》
- ①周知の強化が必要
 - ②それぞれの役割分担の明確化が必要

第2回ワークショップの概要報告(10/20 開催)

こんな情報がほしい

基本情報が
わからない



- ・名称、場所、使い方
- ・申請方法
- ・施設の案内情報

人を呼び込む
情報が必要



- ・野生生物の紹介(TV)
- ・実施しているイベント等の情報
- ・川の中の整備状況
- ・魚(釣り)の情報
- ・ウォーキングコース紹介
- ・利用団体の紹介(活動内容)

自分たちもできる(やってみたい)PR活動

- ・実験や観察などの出前授業
- ・市広報、ケーブルテレビ、SNSでの発信
- ・町内会アンケート(ニーズの把握)
- ・学校(PTA)でのチラシ配布
- ・野球連盟HPで情報発信(野球以外も)

各分野からの協力を得るためには？



赤川の基本的な情報が必要

どれからPRすれば…

まずは基本情報から(HPとFB等)

- ・赤川河川敷の情報
 - 名称 ▸場所、行き方 ▸使い方 ▸動植物
- ・事業の情報
 - 伐採 ▸出店 ▸大会
- ・利用状況
 - 団体情報



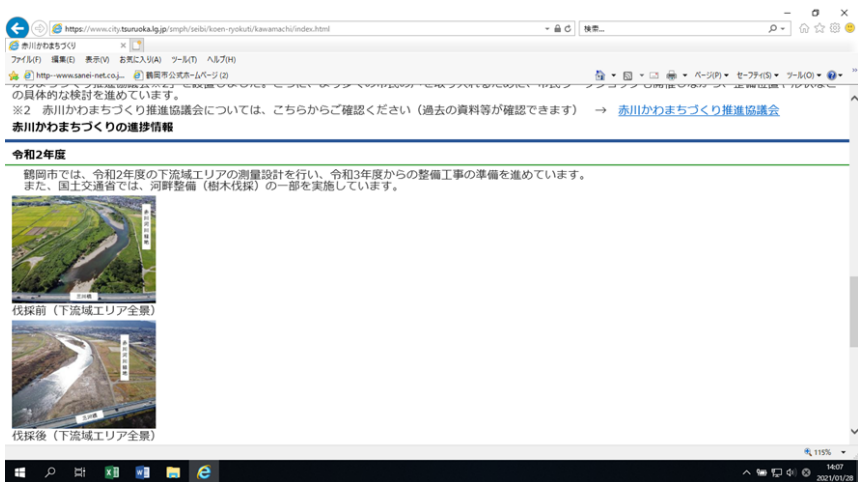
随時、基本情報のバージョンアップ

＜現在の取り組み状況＞

- ① 市HPでの紹介
- ② かわまちづくり協議会FBでの紹介
- ③ 国広報誌による紹介
- ④ 報道機関による記事掲載

基本情報(周知)の取り組み状況

①市ホームページ



②フェイスブック



③国広報誌

あかがわ通信 Vol.40

国土交通省 東北地方整備局 発行 鶴岡河川国道事務所 赤川出張所

「赤川かわまちづくり」工事着手！

今年度から「赤川かわまちづくり」の工事が一部始まりました。赤川では川岸の樹木が視界を遮り、川面が見えづらいたことが課題の1つとなっており、樹木の伐採を一部行っています（写真参照）。全ての樹木を伐採はせず、止まり木を残すことで、鳥類等の生息域の環境にも配慮しています。次年度以降も様々な整備を進める予定ですので、生まれ変わる赤川にご期待ください。

樹木伐採前 樹木伐採後

★今後の主な整備内容（予定）★

- 駐車場舗装（鶴岡市整備）
- 親水護岸（国整備）
- 堤防階段（国整備）
- 堤防スロープ（国整備）
- 園路舗装（鶴岡市整備）
- 駐車場舗装（鶴岡市整備）

（※内容や位置等は、今後鶴岡市と調整して整備する予定です）

「赤川かわまちづくり」とは？

鶴岡市の中心部を流れる赤川を活用し、「かわ」と「まち」とが一体となった新しい賑わいの場として、日常的に人が集まる水辺空間となるように公園等を整備するものです。「鶴岡市赤川かわまちづくり計画」の整備項目や維持管理体制、整備後の利活用方法について、ワークショップ等の開催により、多くの市民の皆様のご意見をお聞きしながら、事業を進めています。

④報道機関記事

2021年(令和3年)1月23日(土曜日)

良好な水辺空間再整備

鶴岡「赤川かわまちづくり」スタート

本年度は景観に支障ある樹木伐採へ

「赤川かわまちづくり」の工事が一部始まりました。赤川では川岸の樹木が視界を遮り、川面が見えづらいたことが課題の1つとなっており、樹木の伐採を一部行っています（写真参照）。全ての樹木を伐採はせず、止まり木を残すことで、鳥類等の生息域の環境にも配慮しています。次年度以降も様々な整備を進める予定ですので、生まれ変わる赤川にご期待ください。

（※内容や位置等は、今後鶴岡市と調整して整備する予定です）

新聞記事のスクリーンショット

赤川の水辺空間を活用した社会実験

■概要

□趣旨

赤川かわまちづくり計画では、賑わいづくりを一つのテーマとしており、民間企業の参入可能区域及び実施期間を定め、営利活動等を行う民間事業者を公募し、**市民ニーズや営業活動の実態を把握**し、今後進める赤川かわまちづくりや水辺における**賑わいづくりでの利活用の在り方を検証**するため、令和元年度に引き続き社会実験を行ったもの。

□実験期間及びエリア

期間 R2.4月～R2.11月

※新型コロナウイルス感染症の影響により、**4月から7月末までの期間、社会実験活動を一時中止**

①赤川河川緑地 ②櫛引総合運動公園 ③櫛引やすらぎ公園

□事業者活動内容

○参画事業者 4事業者

○移動販売車及びテントによる飲食提供

社会実験活動の様子(R2.10.3_赤川河川緑地)



(左)参画事業者の出店状況 (右)民間団体のイベントや少年野球も開催されていた

赤川社会実験

おいでよ赤川へ!
美味しいお店がやってくる

アイスクリームのみもの

2020.10.3(土)

赤川河川緑地 羽黒橋付近

10:00 ~ 15:00

お問い合わせ 鶴岡市建設部都市計画課 公園緑地係
TEL 0235-25-2111(内線 466)
FAX 0235-25-2059
Email: tokel@city.tsuruoka.yamagata.jp

市民のみさんのニーズを知り、赤川の水辺空間を活用するための事業です

▲作成したチラシ

赤川の水辺空間を活用した社会実験

■ 社会実験の事業者実施報告書の考察

(1) 活動状況

事業者毎の活動状況は表1のようになった。

表1.事業者毎の活動状況

事業者 販売物	自家焙煎珈琲ひぐらし コーヒー				Heart&Peace クレープ等				月山アイスクリーム アイス等				いなばや菓子店 かき氷						
	赤川河川緑地				赤川河川緑地				赤川河川緑地、櫛引総合運動公園				櫛引総合運動公園						
活動場所	活動日	時間		来客数	活動日	時間		来客数	活動日	時間		来客数	活動日	時間		来客数			
	活動状況					10/3(土)	10:00	~	15:00	35	8/14(金)	11:00	~	15:00	11	10/4(日)	10:00	~	16:00
										8/26(水)	11:00	~	15:00	21	10/18(日)	10:00	~	16:00	14
										10/3(土)	10:00	~	14:00	36					

 イベント開催日

延べ6日、来客数138人

≪昨年度≫

延べ41日、来客数1,200人

○考察

- ① 社会実験の一時中断(4月~7月末)もあり、活動はかなり少ないものとなった。
- ② 活動を行った場合は、一定の需要があると推測される。
- ③ 赤川での活動を広く周知し、人を川に誘導する取り組みが必要である。

1. これまでの経過報告

(2) 取り組み実施における主な課題、意見等

①採算性	<ul style="list-style-type: none">・ 単体での出店では困難。・ 他の参画者やイベントと関連して出店することが望ましいと思う。・ 周知と認知不足で困難。
②環境面	<ul style="list-style-type: none">・ 景色も良く自然を感じられる良い場所だと思う。・ アクセスが悪い。※場所がわかりにくい
③制度面 (社会実験要項)	<ul style="list-style-type: none">・ 定期的な出店を条件にする。・ 活動条件を追加する。(活動スケジュールをもらうなど)・ 募集内容をイベントに限定する。
④その他	<ul style="list-style-type: none">・ 常設の店舗などがあると、活動がしやすくなる。・ 出店側でも出店計画が必要だと感じた。・ 多数合同出店ができれば賑わいもできて良いと思う。・ 公共の場で活動できる機会があるのはありがたいので、継続してほしい。
○考察	
<ul style="list-style-type: none">① 単発的な活動では集客は難しい。② 情報発信の強化が必要である。③ 制度面において、活動条件の見直しが必要である。	

■ 赤川社会実験 まとめ

- 活動回数は少なかったものの、昨年度と同様に**周知不足の改善と実験内容の見直しが必要**と感じられた。
- 次年度から工事が本格化することを踏まえ、**各条件の見直し**を行い、**社会実験を継続**したい。

(3)今後のスケジュール

1. 次年度の予定 ※標記しているスケジュールは鶴岡市で想定しているものです

項目	令和3年度												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
第4回かわまちづくり推進協議会	> 伐採箇所や整備予定箇所の視察を実施し、イメージの確認・共有を図る。(4~5月) > 個別の課題(川を活用した体験支援・周知方法などの課題に対し、意見交換会等の実施の検討)							> 経過報告 > R4年度整備内容の確認 > 次年度の予定					
整備工事		発注	[Blue bar spanning from month 5 to 12]										完成
赤川社会実験(継続事業)	開始(3月中に事業者決定)			[Blue bar spanning from month 4 to 11]									

2. 鶴岡市赤川かわまちづくり事業 全体スケジュール ※事業期間は、完了評価を含めたR2~R11までの10年となります。

項目	エリア	内容	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11~
鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会	下流域エリア	整備の位置・形状、利活用、維持管理の具体化	2回	各年度1~2回を想定									
	上流域エリア	整備の位置・形状、利活用、維持管理の具体化	ワークショップ					各年度1~2回を想定			維持管理 利活用	→ 整備完了後も継続した検証を行う	
鶴岡市	下流域エリア	園路、駐車場、利用案内看板 トイレ、広場 等		測量設計	整備工事								
	上流域エリア	駐車場、広場、利用案内看板 トイレ、四阿 等			園路・駐車場			測量設計	整備工事				
国	下流域エリア	河畔整備、管理用通路 親水護岸、堤防坂路 等	事業再評価		測量設計							事業再評価	事後評価
	上流域エリア	河畔整備、管理用通路 高水敷整正、親水護岸 等			測量設計		事業再評価			整備工事			

赤川かわまちづくり事業において、整備工事については来年度から本格化する予定で進めているが、今後計画されている一部の整備工事の内容や利活用・維持管理体制等がまだ具体化されていないことから、**個別の課題解決に向けて**具現化を図っていく。

【課題となっているテーマ】

NO.	テーマ	内容
1	川を活用した体験支援について	やなば・親水護岸等の有効な利用方法の検討
2	周知方法(PR)について	周知強化を図るための手法・役割分担の検討
3	観光ネットワークについて	レンタサイクルなど有効な活用方法の検討
4	健康づくり、子どもの遊び場について	遊具やウォーキングコース等有効な利用方法の検討
5	既存施設の有効利用について	桜ハウスの利活用など

第3回鶴岡市赤川かわまちづくり推進協議会 各施設の整備内容

令和3年2月18日

鶴岡市都市計画課

各施設の整備内容 《目次》

P2 ……整備工程
P3 ……下流域整備メニュー
P4 ……園路(R3～)
P5 ……駐車場(R3～)
P6 ……広場(R4～)
P7 ……トイレ(R4～)
P8 ……遊具(R5～)
P9 ……照明灯(R6)
P10 ……看板(R6)
P11 ……水栓、四阿、ベンチ(R6)
P12 ……レンタサイクルポート(R6～)
P13 ……河畔整備(R2～)
P14 ……堤防坂路(スロープ)(R3～)
P15 ……階段工((R3～)
P16 ……親水護岸(R5～)
P17 ……管理用通路(R5～)
P18 ……進入路拡幅(R7)

P19 ……上流域整備メニュー
P20 ……広場(R7～)
P21 ……看板(R7)
P22 ……橋梁拡幅(R7)
P23 ……古木樹勢調査・更新(R7～)
P24 ……園路(R8)
P25 ……駐車場(R8～)
P26 ……遊具・渡河施設(R8～)
P27 ……水栓、四阿、ベンチ(R8～)
P28 ……トイレ(R9)
P29 ……河畔整備(R2～)
P30 ……管理用通路(側帯)(R7)
P31 ……散策路(R7)
P32 ……堤防坂路・渡河施設(R7～)
P33 ……親水護岸・散策路(R7～)
P34 ……進入路拡幅(R8)

緑: 鶴岡市

赤: 国土交通省

整備工程について

●整備(計画)期間

令和2年～令和9年(8年計画)

●整備工程

令和2年～令和6年 下流域エリア

令和7年～令和9年 上流域エリア

➤ 早期に事業の効果が見込まれる下流域エリアより着手する。

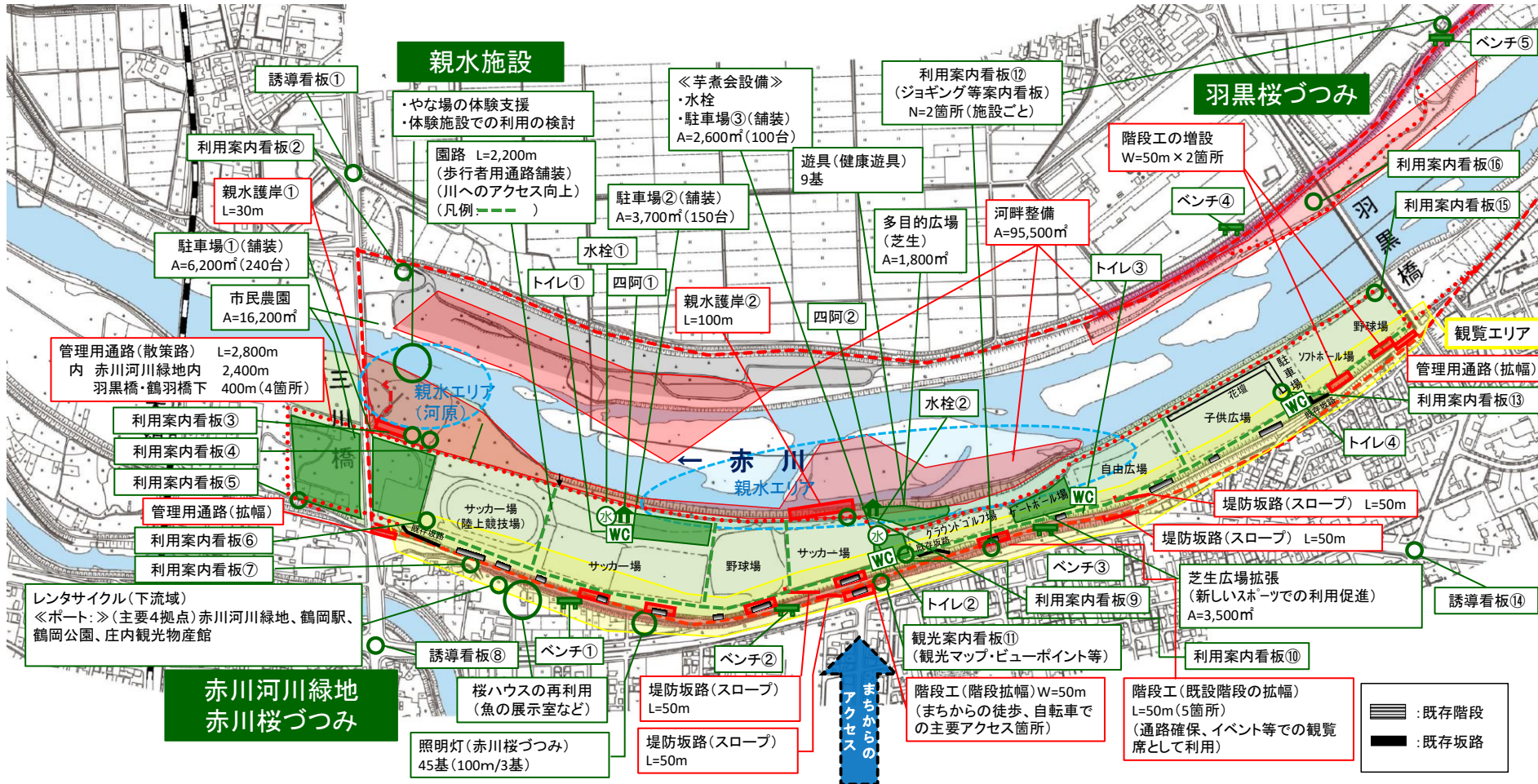
➤ 一体的な整備を行うことにより、観光面などでより事業効果が見込まれるものは、上下流の区別なく早期着手を目指す。

※かわまちづくり支援制度の要綱上、整備は概ね5カ年で実施することになっている。

事業主体	整備内容	単位	数量	数量内訳		R1 (H31)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
				下流域エリア	上流域エリア			1期整備(下流域)					2期整備(上流域)	
鶴岡市	測量設計	回	3	2	1									
	園路整備	m ²	10,800	9,400	1,400									
	駐車場整備	m ²	20,800	12,500	8,300									
	広場整備(芝生)	m ²	6,500	5,300	1,200									
	トイレ整備(新規、更新)	基	5	4	1									
	遊具整備	基	5	4	1									
	照明灯整備	基	18	18										
	サイン(看板)整備	基	23	11	12									
	水栓整備(新規、増設)	基	3	2	1									
	四阿整備	基	3	2	1									
	ベンチ整備	基	12	5	7									
	レンタサイクル	台	45	20	25									
	橋梁拡張	橋	1		1									
	樹勢調査	本	40		40									
	古木更新	本	10		10									
広場整備(クレイ)	m ²	7,300		7,300										
渡河施設整備	箇所	2		2										
国	測量設計	回	1	1										
	河畔整備	m ²	161,500	95,500	66,000									
	堤防坂路(スロープ)	箇所	4	4										
	階段工	箇所	8	8										
	親水護岸	m	160	130	30									
	管理用通路(遊歩道、散策路)	m	5,590	2,800	2,790									
	進入路拡張	箇所	3	2	1									
	高水敷整正	m ²	9,600		9,600									
	堤防坂路(舗装)	m ²	250		250									
	渡河施設	箇所	1		1									

※整備工程は、今後の推進協議会において継続して協議

下流域整備メニュー（赤川河川緑地）



市整備	
サイン(看板)設置	N=3箇所
利用案内看板	N=13箇所
駐車場整備(舗装)	N=5箇所
園路整備(歩行者通路舗装)	L=2,200m
照明灯整備	N=45基
広場整備(芝生)	N=2箇所
四阿整備	N=2基
ベンチ整備	N=5基
トイレ整備	N=4箇所
水栓整備	N=2箇所
遊具整備	N=4基
レンタサイクル	N=4箇所

国整備	
河畔整備	A=95,500㎡
管理用通路(遊歩道、散策路)	L=2,800m
親水護岸	L=130m
階段工	N=8箇所 W=50m
	新設2箇所
	拡幅6箇所
管理用通路(散策路)	L=110m
堤防坂路(スロープ)	N=4箇所(50m/箇所)
進入路拡幅	N=2箇所

	: 既存階段
	: 既存坂路

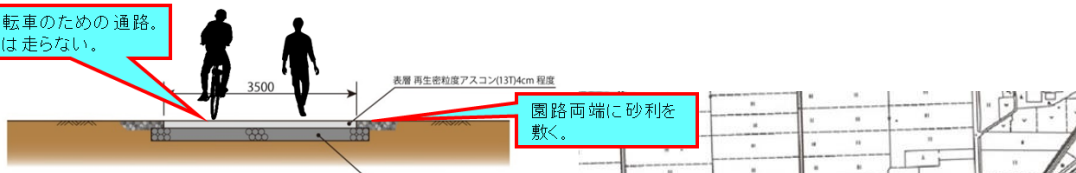
各施設の整備内容（赤川河川緑地）

園路(R3～)

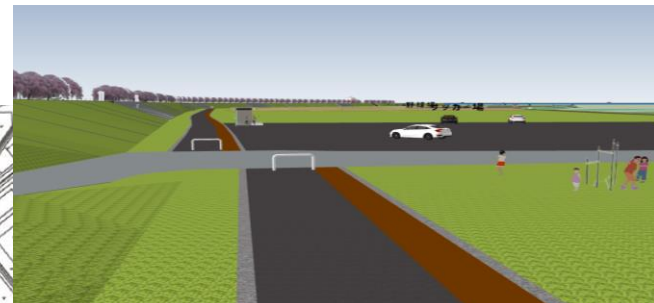
- 目的: 舗装することで、かわへのアクセス向上を図る。
- 規格等: L=約2,200m W=3.5m アスファルト舗装(一部着色)
- 備考: 自転車がすれ違って通行できる幅を確保、園路まわりに草が繁茂しにくいように両端に防草シート、車両進入防止のため、端部に車止めを設置

課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
位置、形状	①各広場や駐車場との 段差解消 ②木材チップ舗装などで アクセントを付ける (車と歩行者の区分)	①各広場や駐車場との 出入り口の段差解消 (1～2箇所程度) ②庄内の 廃棄瓦 を利用し、園路の一部を 着色 (w=1m) ③ ランニングコースの配置 (案内看板、キロ程の設置)

人や自転車のための通路。
自動車は走らない。



▲園路 標準横断面図 (RC-40)



▲園路舗装イメージ



▲園路整備平面図



廃棄瓦を再利用

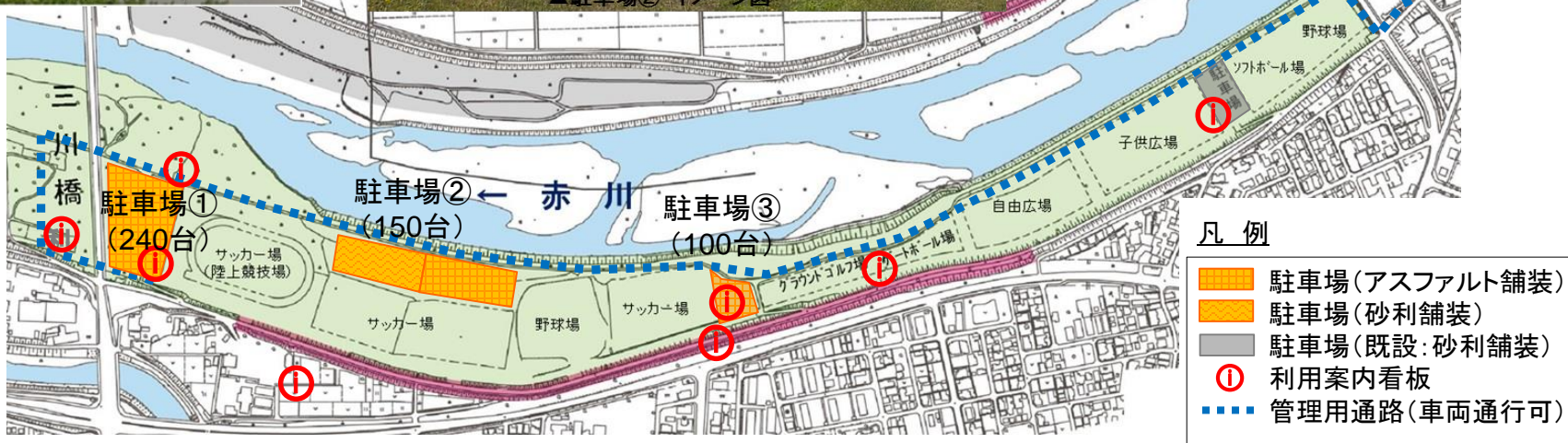
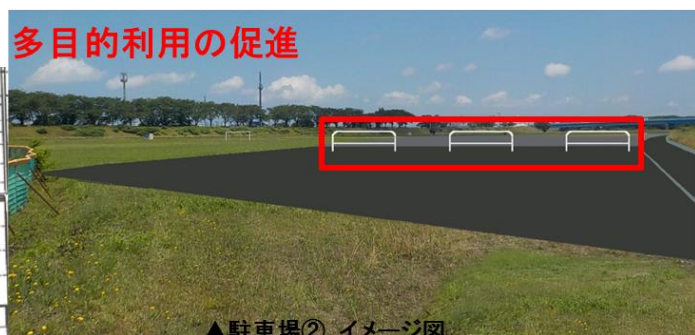
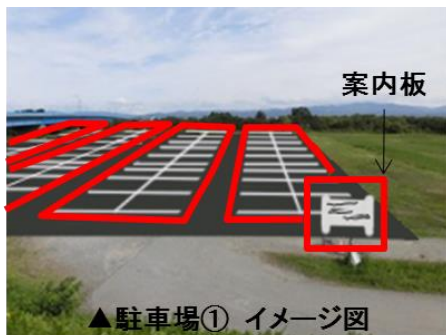
- 凡例
- 園路(車両通行不可)
 - 管理用通路(車両通行可)

各施設の整備内容（赤川河川緑地）

駐車場(R3～)

- 目的: 利用者の利便性の向上を図る。
- 規格等: 駐車場①、③アスファルト舗装 駐車場②一部砂利舗装 A=①6,200m² ②3,700m² ③2,600m²
- 備考: 駐車場②のみ脱着式車止めで半分に区切り、上流側はアスファルト舗装、下流側は砂利舗装にする。繁忙時は「臨時駐車場」とする。

課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
整備工程	利便性の向上が図られることから、早期着手をお願いしたい。	早期着手の声と比較的多くあった。他の整備項目や国の事業と調整を図りながら進めていく。

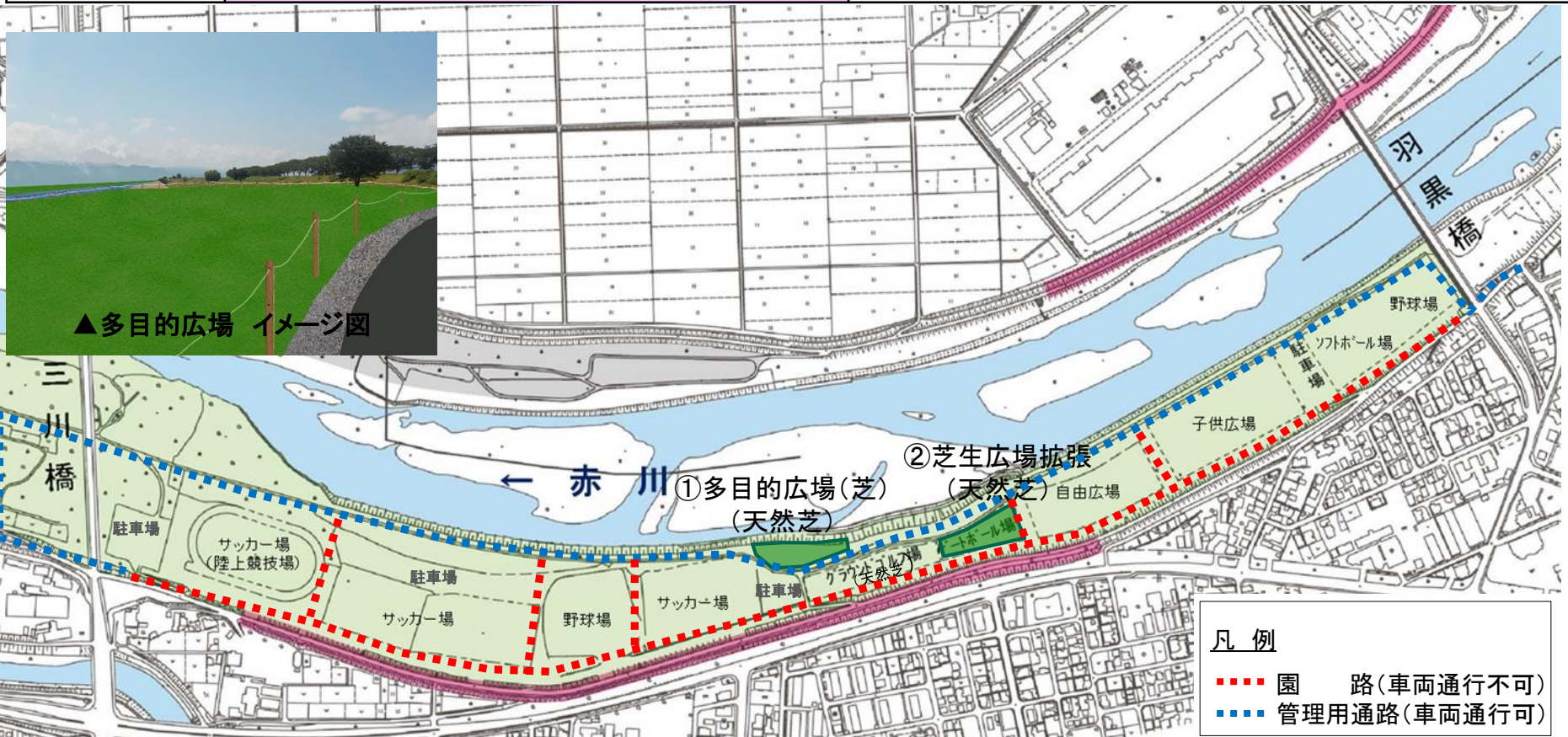


各施設の整備内容（赤川河川緑地）

広場(R4～)

- 目的:親水性の向上と多目的な利用促進を図る。
- 規格等:A=①1,800m² ②3,500m² 天然芝
- 備考:広場①の川側は親水性を持たせるためフェンス等の設置はせず、注意喚起看板などにより安全な利用を促す。

課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
利用形態	①ドックランなど多目的な利用をしたい。	①開放的な空間となるよう配慮する。

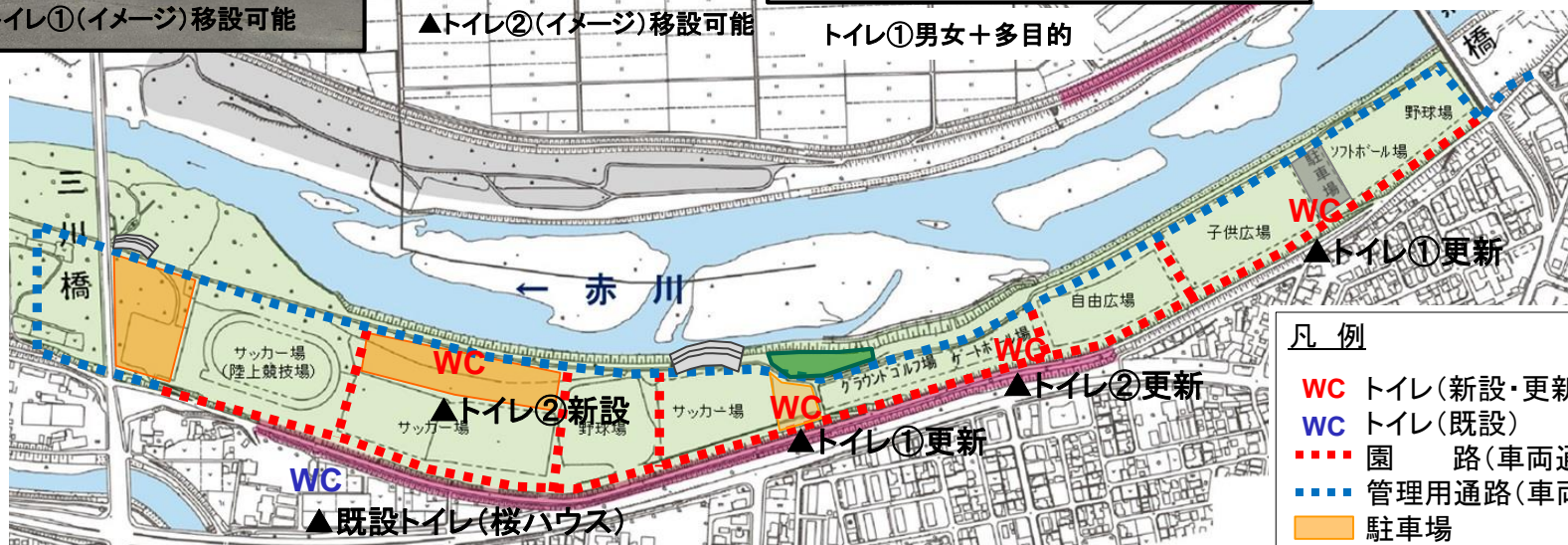
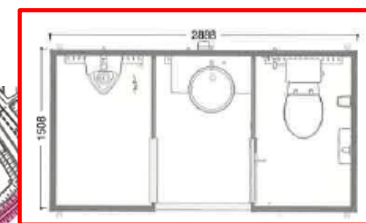
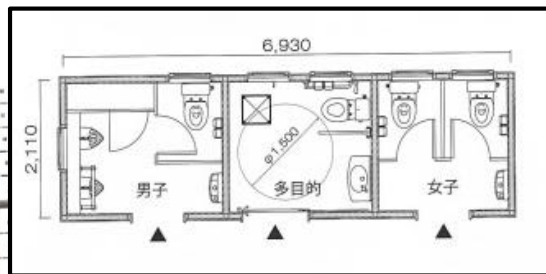


各施設の整備内容（赤川河川緑地）

トイレ(R4～)

- 目的: 利便性と景観の向上を図る。
- 規格等: N=4箇所 男女別、多目的付(ただし利用頻度が高いと想定される箇所を優先)
- 備考: 大規模なイベント時はその主催者側で別途設置。

課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
規格	①できるだけ男女別が望ましい。	①利用頻度を考慮し配置する。 ②撤去計画を考慮し配置する。



- 凡例
- WC トイレ(新設・更新)
 - WC トイレ(既設)
 - 園路(車両通行不可)
 - 管理用通路(車両通行可)
 - 駐車場
 - 多目的広場

各施設の整備内容（赤川河川緑地）

遊具(R5～)

- 目的: 幅広い世代の利用促進を図る。
- 規格等: 健康遊具 2基
- 備考: 遊具利用の案内看板を設置。

課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
位置、規模	①遊具の間隔をもっと狭く ②親子の遊び場として集約 ③人が集まりやすいところ、使いやすいところ(駐車場付近)に集約 ④遊具はまとめて設置したほうが良い。点在して設置する理由が分からない。 ⑤遊具の間隔は広いが、サーキットラン的な利用や、コース設定をすることで様々な利用ができる。 ⑥できれば日影で運動したい。	幅広い世代(親子や高齢者など)が利用できるもの、鉄棒や雲梯など基本的な設備を組合せることで、決まった動作ではない自由な発想で利用できる設備。 広い空間で青空ジム

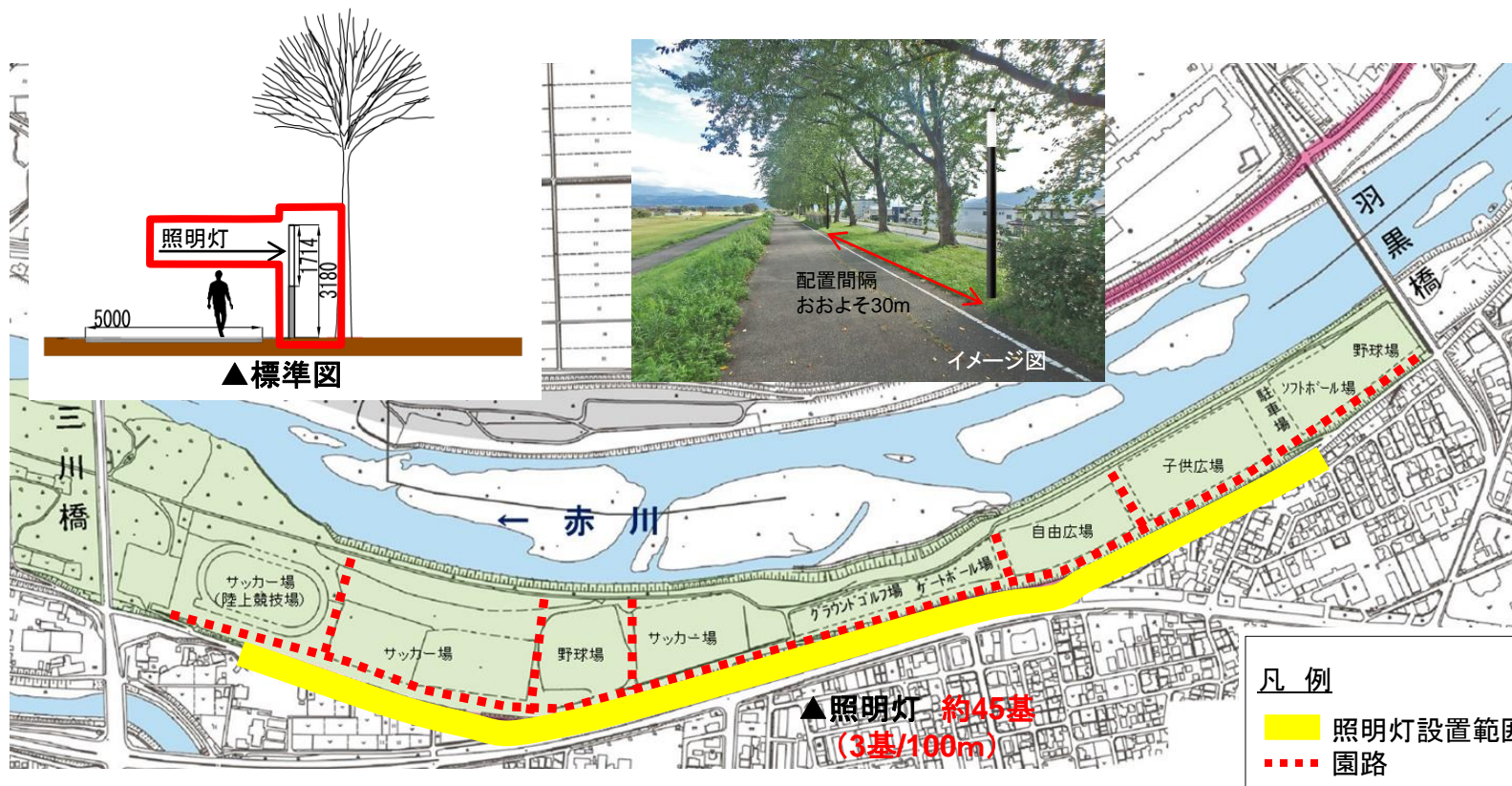


各施設の整備内容（赤川河川緑地）

照明灯(R6)

- 目的: 利便性と安全性の向上を図る。
- 規格等: N=45基 3基/100m
- 備考: 桜への影響を考慮しポールタイプ仕様

課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
規格	①照射範囲の広いものが良い。 ②桜を阻害しないものが望ましい。	①②照射範囲が広く、桜への影響の少ないポールタイプを設置

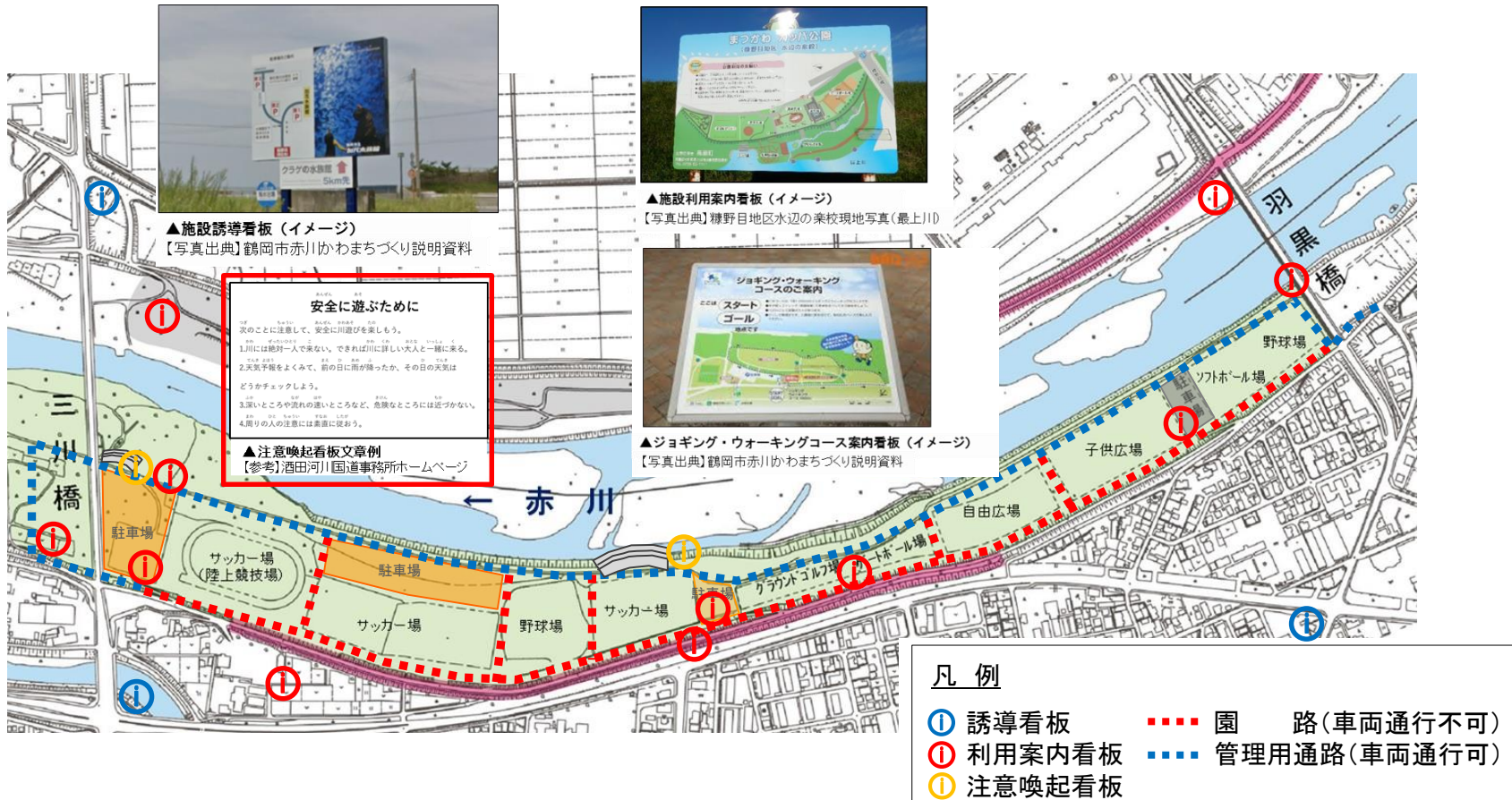


各施設の整備内容（赤川河川緑地）

看板(R6)

- 目的: 利便性の向上と情報周知の強化を図る。
- 規格等: N=16箇所（内 誘導看板 3箇所、利用案内看板 11箇所、注意喚起看板 2箇所）
- 備考: 各広場の入口にも名称を付した案内板を設置。

課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
利用形態	①施設の場所や使い方などが分からない。	①公園の配置図や使い方などを記載した看板を、駐車場など人の集まる場所に整備。



各施設の整備内容（赤川河川緑地）

水栓、四阿、ベンチ(R6)

- 目的: 利便性の向上を図る。
- 規格等: 水栓 N=2箇所 四阿 N=2箇所 ベンチ N=5基
- 備考: 利用形態や規模に応じて配置

課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
規格、形状	≪ベンチ≫ 背もたれ付でゆっくりしたい ≪水栓≫ 芋煮やBBQでの使用を考え、使いやすい規模が必要 ≪四阿≫ 広場にはある程度の規模の四阿が望ましい	≪ベンチ≫ 木陰を利用したサークルベンチの設置検討。 ≪水栓≫ 利用形態に合わせて水栓を設置。 ≪四阿≫ 配置予定場所の規模や形態を考慮し設置。



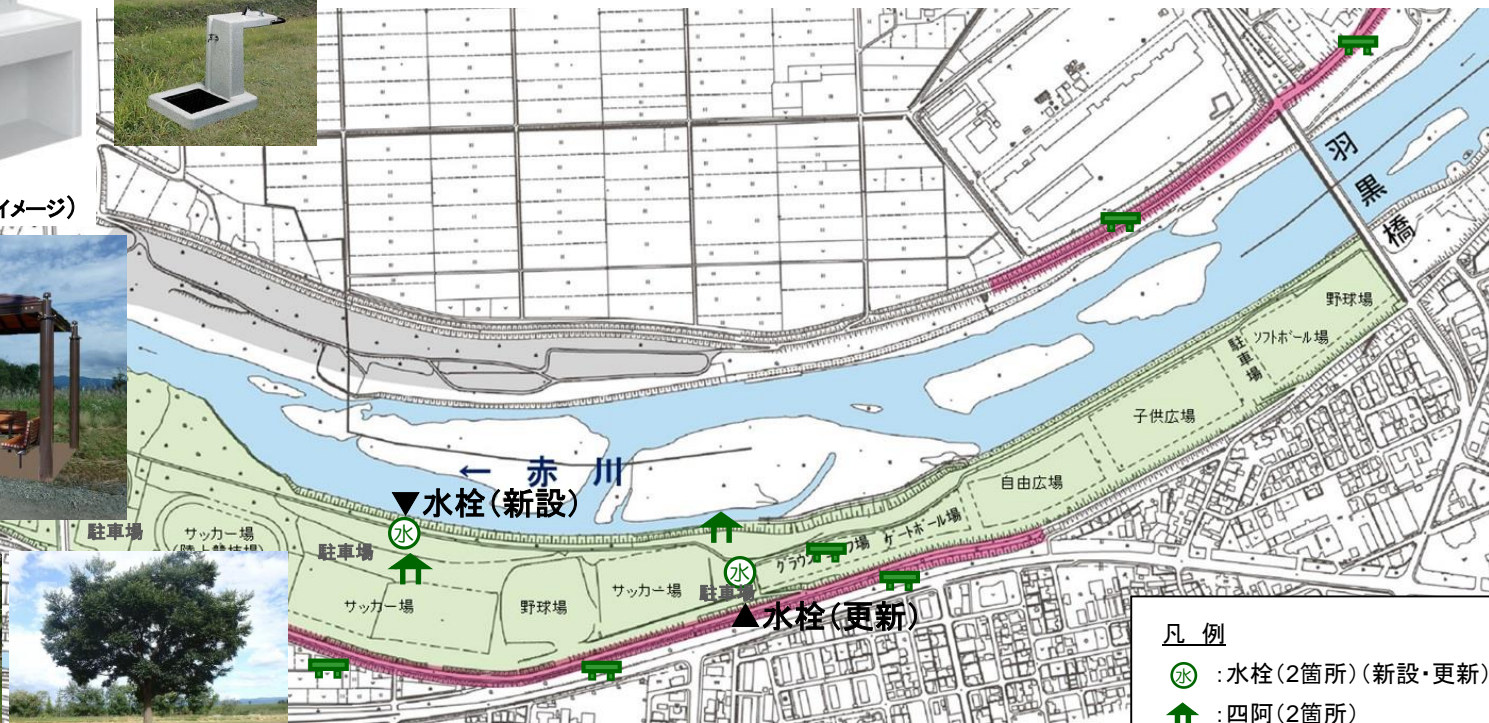
▲水栓(イメージ)



▲四阿(イメージ)



▲ベンチ(イメージ)



▼水栓(新設)

▲水栓(更新)

- 凡 例
- ⊙水 : 水栓(2箇所)(新設・更新)
 - ↑ : 四阿(2箇所)
 - : ベンチ(5基)(新設)
 - ⊕ : サークルベンチ(1基)

各施設の整備内容（赤川河川緑地）

レンタサイクルポート(R6～)

- レンタサイクルポート: 計画区域 9箇所
赤川河川緑地、榑引総合運動公園、鶴岡公園
松ヶ岡開墾場、黒川能の里、丸岡城跡史跡公園
産直あぐり、鶴岡駅前、庄内観光物産館
- 主要な観光地へも配置
- 使用年代に応じた自転車の配置
- 子供用も貸出
- 貸し出し方法が重要
→ 管理人の配置 OR 電子決済によるレンタル
- 移動距離の設定



▲レンタサイクルポートイメージ

各施設の整備内容（赤川河川緑地）

河畔整備(R2～)

河畔整備（樹木伐採）

- 目的: 川面の見える景観の創出、親水性の向上
- 面積: A=約95,500㎡
- 対象: ニセアカシア、オニグルミなど
- その他: 鳥類や昆虫、希少植物に配慮しながら実施



樹木がうっそうとし川面が見えない、川岸に近づけない…



伐採後、川面が見え川岸に近づけるようになった！

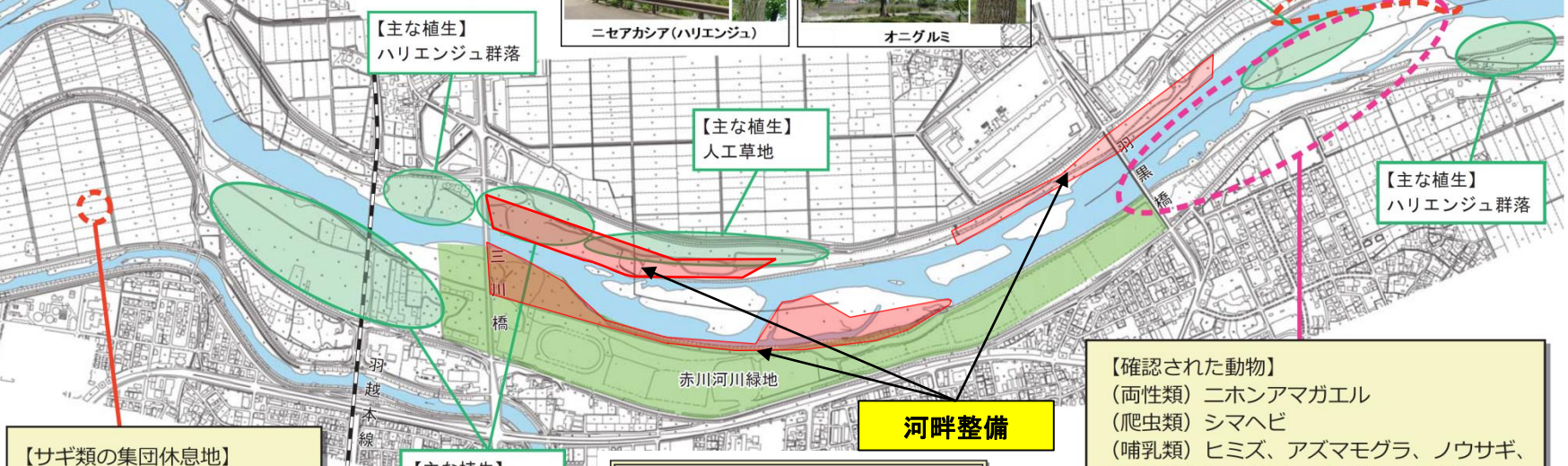


伐採前

伐採後

課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
環境	①樹林内には希少動物の住処となっている場合があるので、事前調査を十分に実施し、整備範囲を決定して欲しい	①有識者への意見照会や河川環境情報図等で確認を行いながら実施したい。

【カモ類の集団越冬地】
(主な出現種)
マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、カワアイサ



【サギ類の集団休息地】
(主な出現種)
アオサギ、コサギ、ダイサギ

【主な植生】
オニグルミ群落
オギ群落

【赤川の代表的な魚類】
アユ、ウグイ、サクラマス、サケ

【確認された動物】
(両性類) ニホンアマガエル
(爬虫類) シマヘビ
(哺乳類) ヒミズ、アズマモグラ、ノウサギ、アカネズミ、タヌキ、キツネ、イタチ

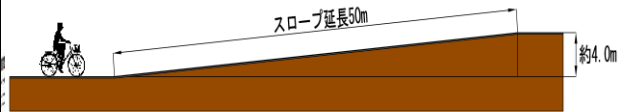
堤防坂路(スロープ)

- 目的: 堤防の上り下りのために設置
- 箇所数: N=4箇所
- 構造: アスファルト舗装
- 勾配: 最大で8%
- その他: 歩行者・車イス・自転車・電動カートの利用を想定

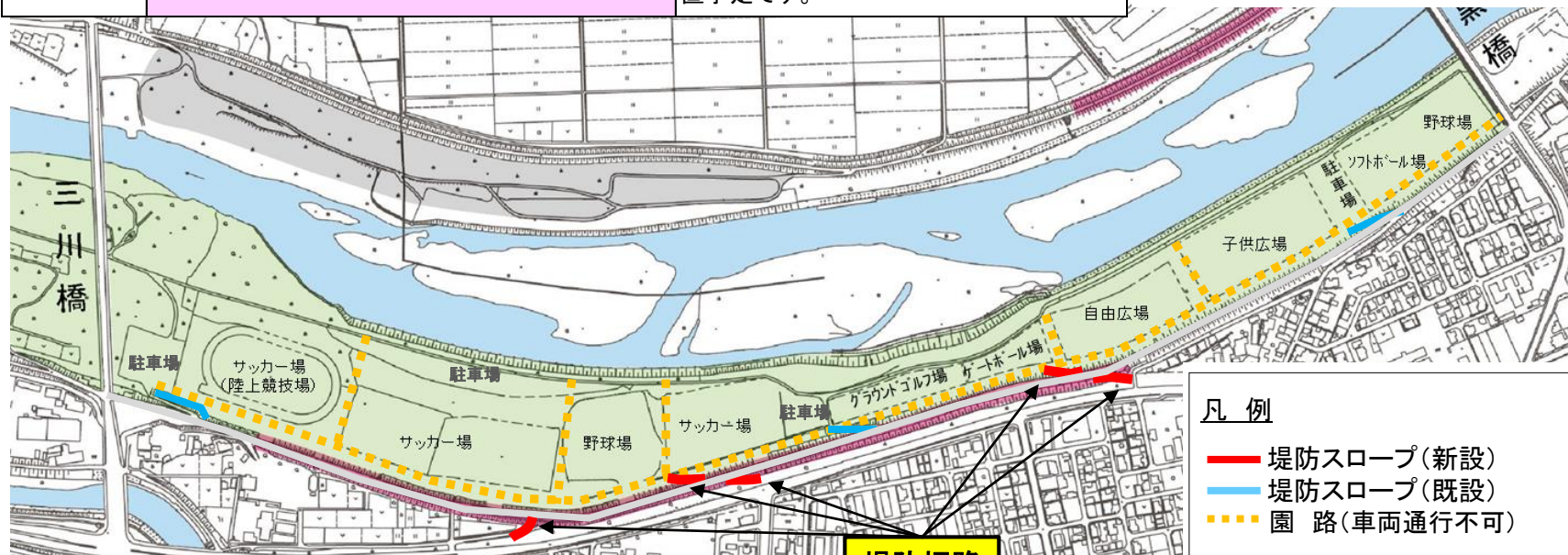


▲電動カートでの利用

課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
整備	①国道112号丁字路交差点から堤防天端へ自動車で上れるようスロープを計画して欲しい。	①国道112号丁字路交差点部にスロープを設置予定である。また、上下流にも国道112号の歩道への接続するスロープを設置予定です。



▲堤防スロープ 標準縦断図

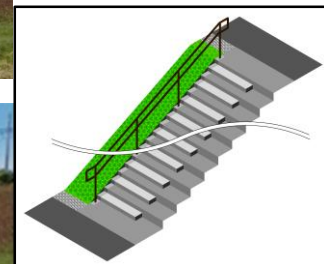


凡例

- 堤防スロープ(新設)
- 堤防スロープ(既設)
- 園路(車両通行不可)

階段工

- 内 容: 堤防の上り下りのために設置
- 階段工: N=8箇所(新設2、拡幅6)
- 階段幅: W=約30m
- その他: スポーツ観覧席の機能も持たせる
手摺りの設置を検討

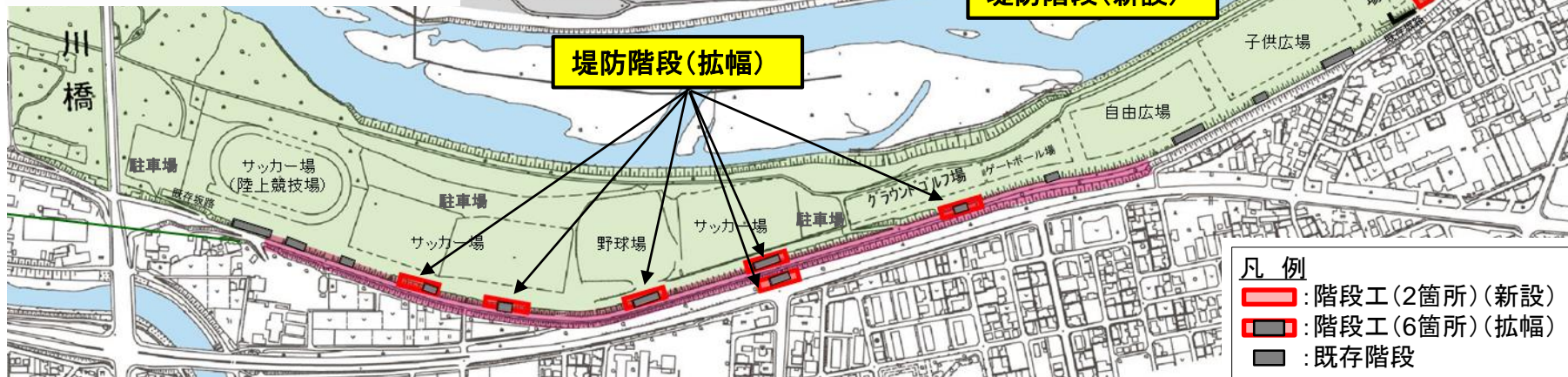


▲階段工(拡幅) イメージ図

▲階段参考図



課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
安全対策	①羽黒橋付近は堤防天端は車道となっているため、安全に配慮した位置や構造にして欲しい。	①堤防天端の利用状況を踏まえ、利用者の安全に配慮した位置や構造を検討したい。



親水護岸

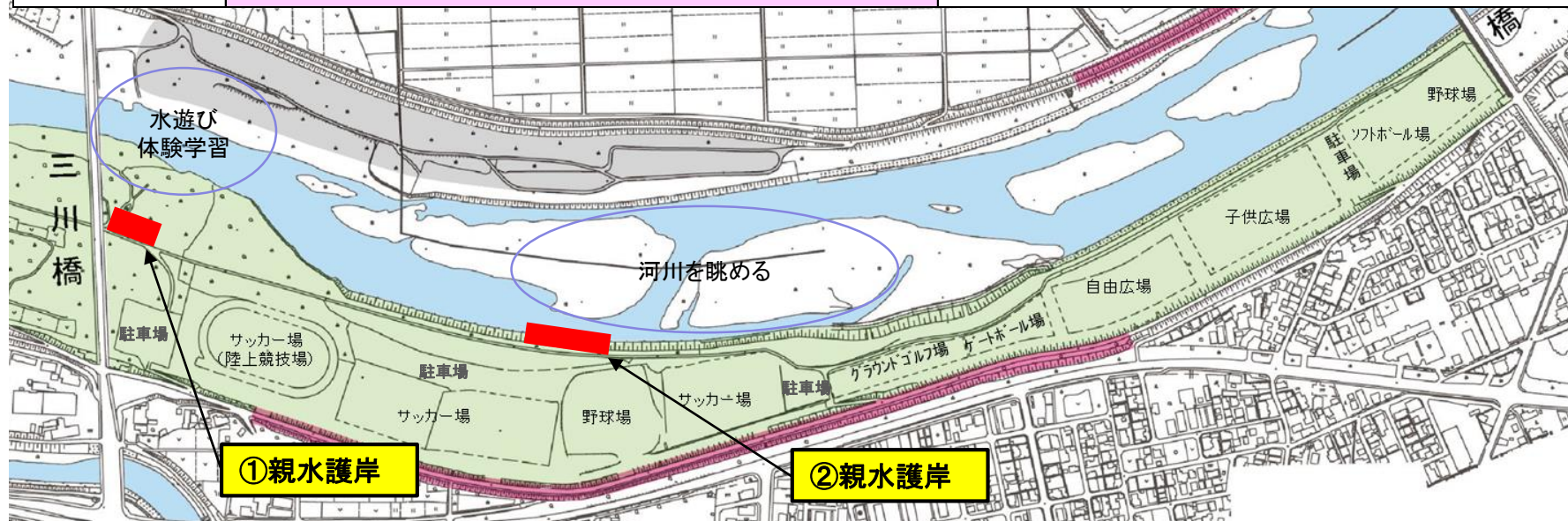
- 目的: 気軽に水辺で水と親しめる環境の創出
- 箇所数: N=2箇所 ※詳細位置は今後検討
- 護岸幅: ①L=約30m ②L=約100m
- その他: 動植物の生育生息環境などの体験学習の場として活用(鶴岡市)



▲①親水護岸 イメージ図

▲②親水護岸 イメージ図

課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
安全対策	①利用時の安全性や洪水時の避難を考慮して検討して欲しい。 ②魚類および水質の保全に配慮した設計をして欲しい。	①利用時の安全性を踏まえた親水護岸の構造を検討する。また、避難路を考慮し、接続する管理用通路を検討したい。 ②設置箇所に生息する魚類などを確認し、設置位置の検討や構造設計に反映したい。

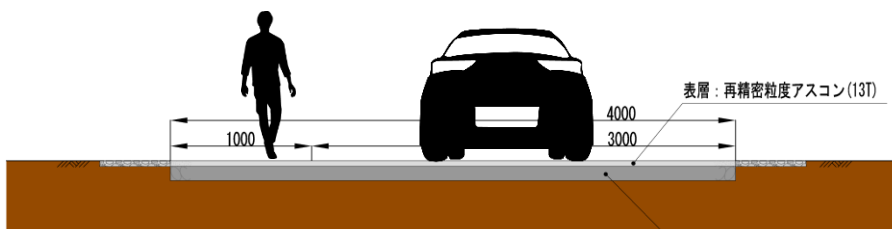


管理用通路

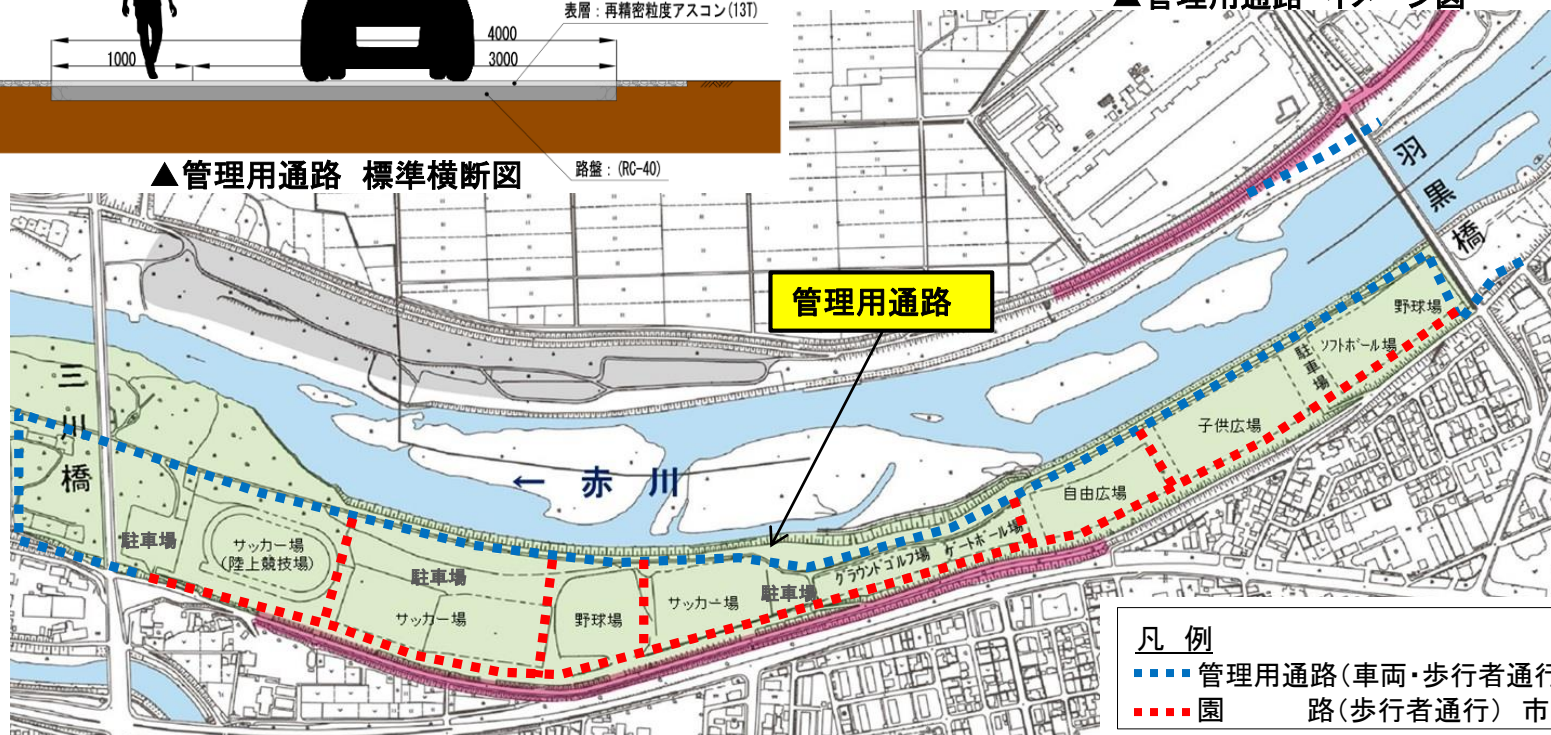
- 目的: 車両通行用の通路を整備(歩行者にも配慮)
- 延長: L=約2,800m
- 通路幅: W=約4.0m(必要に応じて待避所を設置)
- 構造: アスファルト舗装(部分的にデザインを工夫)



▲管理用通路 イメージ図



▲管理用通路 標準横断面図



凡例

- — — 管理用通路(車両・歩行者通行) 国整備
- — — 園路(歩行者通行) 市整備

進入路拡幅

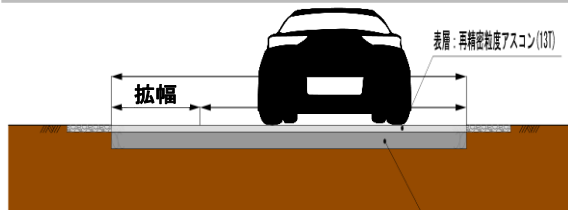
- 目的: 河川公園へのアクセス性の向上
車両すれ違い時の安全性の向上
- 箇所数: N=2箇所
- 拡幅: W=0.5m~1.0m
- 構造: アスファルト舗装



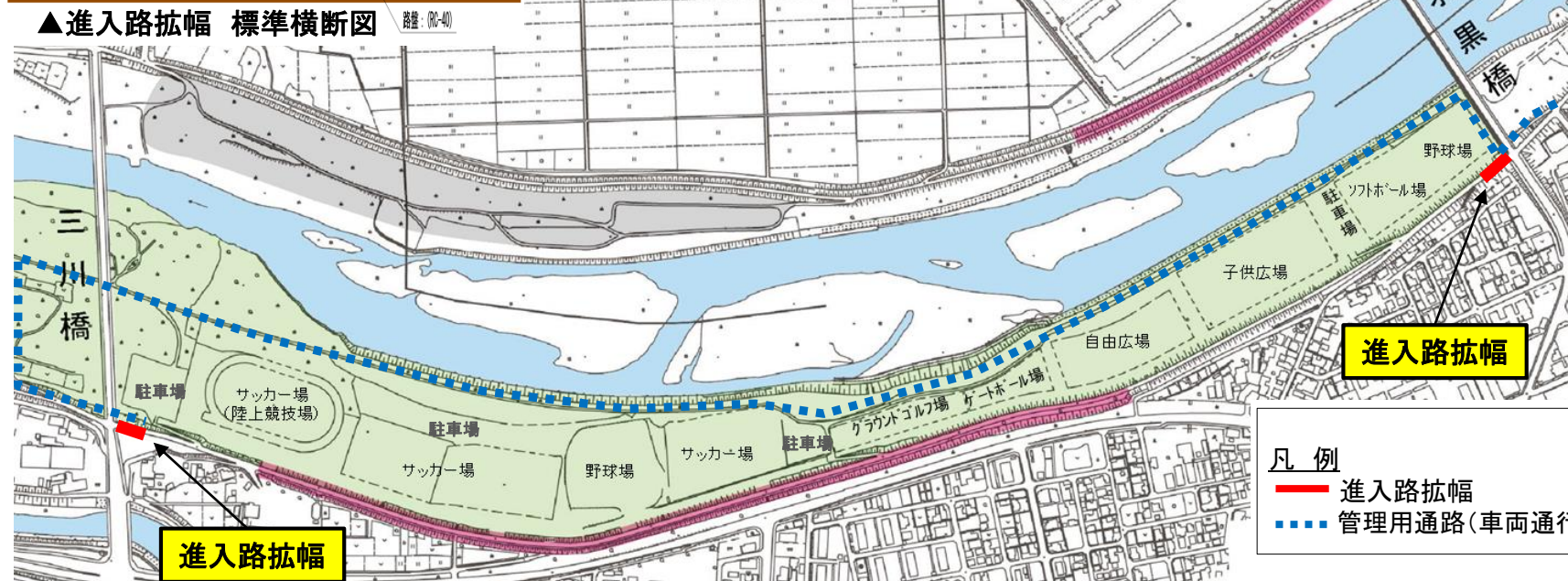
▲進入路拡幅(三川橋側)



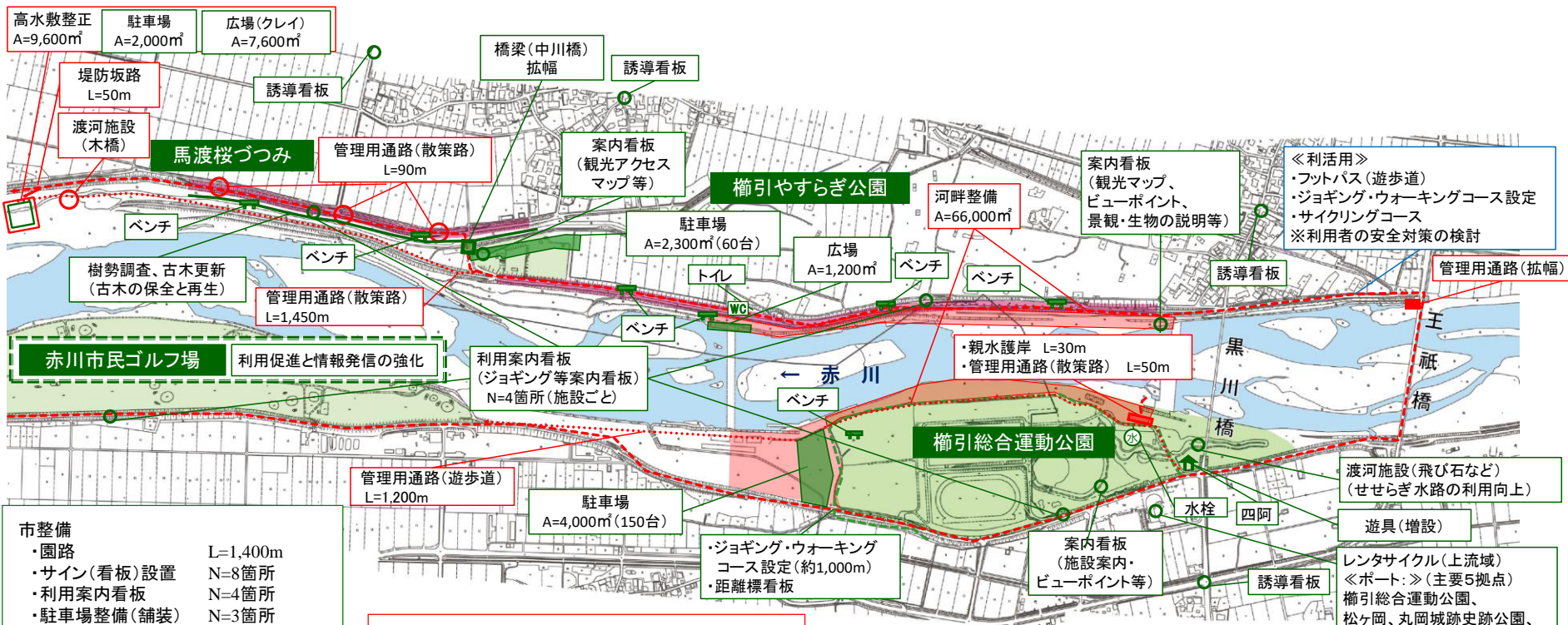
▲進入路拡幅(羽黒橋側)



課題分類	市民意見	意見等を踏まえた具体的整備案
アクセス	①羽黒橋の交差点が狭いため拡幅して欲しい。	①拡幅が可能か今後検討していきたい。



上流域整備メニュー（馬渡、櫛引やすらぎ公園、櫛引総合運動公園）



- 市整備**
- ・園路 L=1,400m
 - ・サイン(看板)設置 N=8箇所
 - ・利用案内看板 N=4箇所
 - ・駐車場整備(舗装) N=3箇所
 - ・広場整備(芝生) N=1箇所
 - (クレイ) N=1箇所
 - ・ベンチ整備 N=7基
 - ・トイレ整備 N=1基
 - ・水栓整備 N=1基
 - ・四阿整備 N=1基
 - ・遊具整備(増設) N=1基
 - ・渡河施設 N=2箇所
 - ・樹勢調査 N=40本
 - ・古木更新 N=10本
 - ・橋梁拡幅 N=1箇所
 - ・レンタサイクル N=5箇所

- 国整備**
- ・河畔整備 A=66,000m2
 - ・管理用通路(遊歩道、散策路) L=2,790m
 - ・高水敷整正 A=9,600m2
 - ・堤防坂路 N=1箇所
 - ・渡河施設 N=1箇所
 - ・親水護岸 L=30m
 - ・進入路拡幅 N=1箇所

: 市での整備
 : 国での整備

《利活用》
 ・フットパス(遊歩道)
 ・ジョギング・ウォーキングコース設定
 ・サイクリングコース
 ※利用者の安全対策の検討

渡河施設(飛び石など)
 (せせらぎ水路の利用向上)
 遊具(増設)
 レンタサイクル(上流域)
 《ポート:》(主要5拠点)
 櫛引総合運動公園、
 松ヶ岡、丸岡城跡史跡公園、
 黒川能の里、産直あぐり

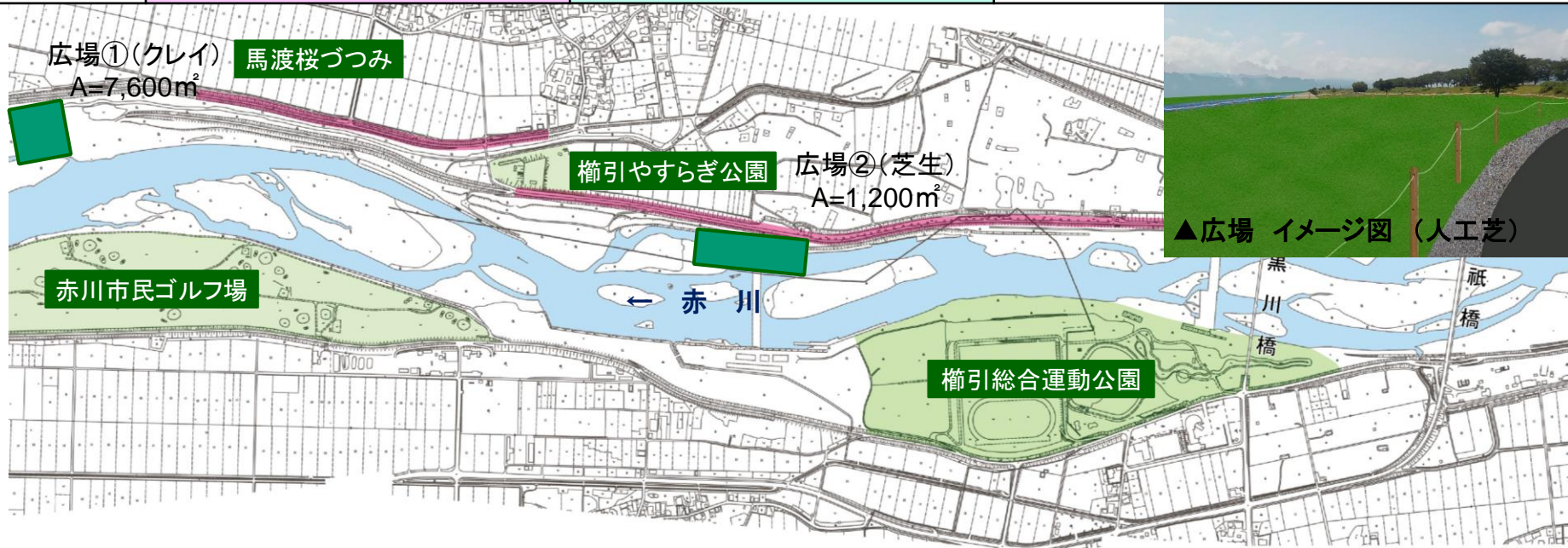
各施設の整備内容（馬渡、櫛引やすらぎ公園）

広場(R7～)

- 多目的な利用のできる芝生広場を設置
- 天然芝: メリット 導入時安価
デメリット 定期的な管理(施肥等)が必要

- 芝種: 天然芝又は人工芝
- 人工芝: メリット 管理が簡単、耐久性に優れる
デメリット 導入時高価、火気の使用が限られる

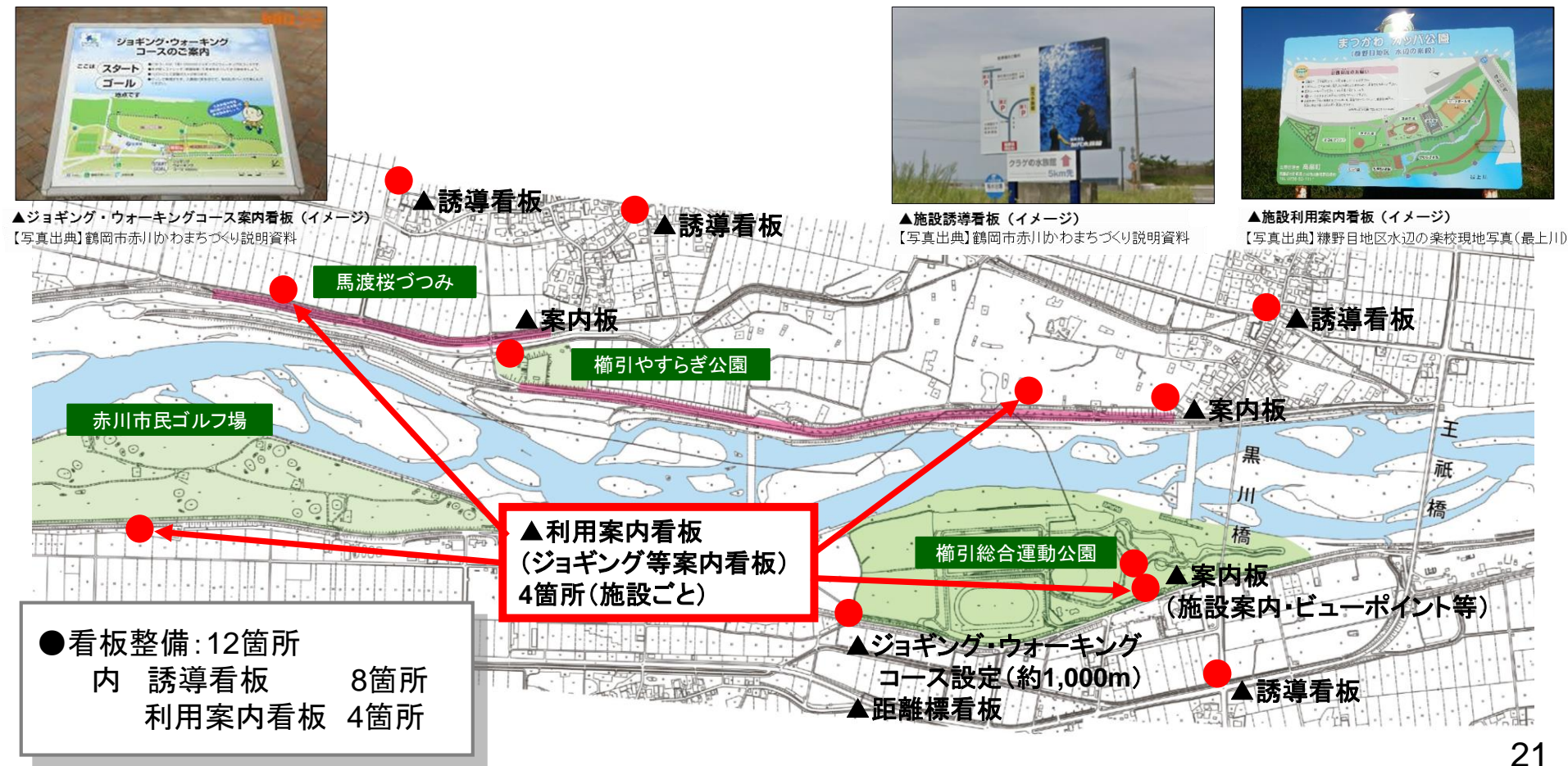
市民意見			市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法
課題分類	課題内容	解決策や代替案	
用途	中州や床止へも接続できないか	広場～川辺まで整備	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、虫取り等で子供たちが川辺で活動している。護岸整備と広場の整備に付帯して整備すれば安全性が向上する ・中州や床止へ容易にアクセスができれば利活用率が上がる



各施設の整備内容（馬渡、櫛引やすらぎ公園、櫛引総合運動公園）

看板(R7)

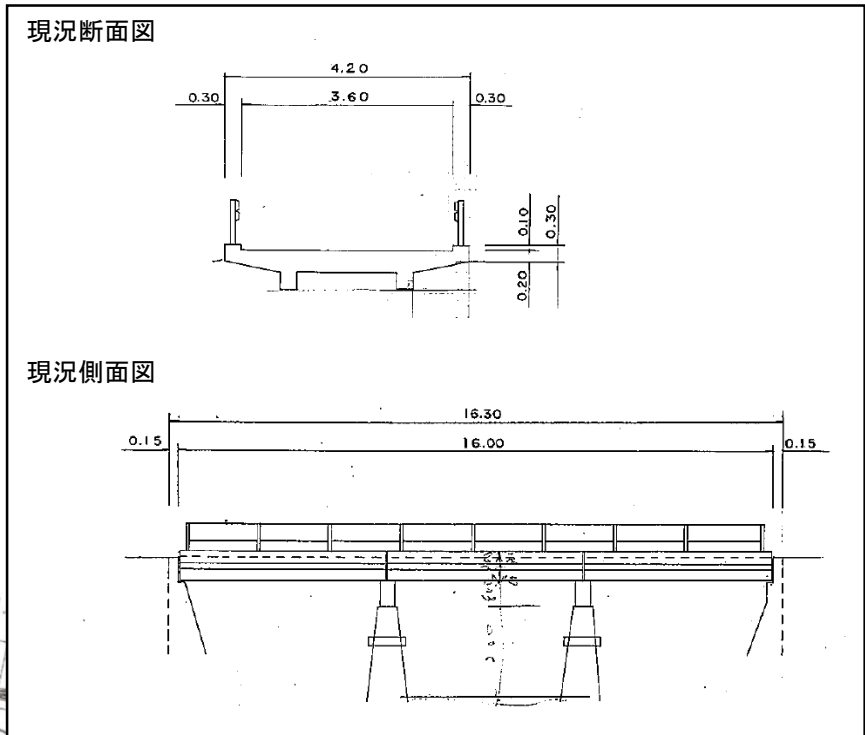
市民意見			市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法
課題分類	課題内容	解決策や代替案	
維持管理	経年劣化で見えにくい	定期更新、耐候性素材	<ul style="list-style-type: none"> ・耐候性特殊プリントの採用 ・上下流域全体MAPやQRコードを利用した看板設置 ・子供用看板の設置
内容	子供や高齢者にわかりづらい	大人用、子供用に区別 簡易な言葉を使用 Webサイトへ誘導	



各施設の整備内容（櫛引総合運動公園）

橋梁拡幅(R7)

現況
橋梁名：中川橋
設置年：S45
橋長：16.0m
幅員：3.6m
■大型車(観光バス)の利用も考慮した構造とする



▲現況写真

馬渡桜つつみ
▲中川橋拡幅
櫛引やすらぎ公園
赤川市民ゴルフ場
赤川
櫛引総合運動公園
黒川橋
王祇橋

各施設の整備内容（馬渡）

古木樹勢調査・更新(R7～)

市民意見			市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法
課題分類	課題内容	解決策や代替案	
内容	桜つつみ周辺まで来ないと認知できない	対岸からも一望できるように護岸整備と古木更新する。 また桜以外の植物の植樹	・羽黒桜つつみは市街地に近いということもあり人目に付きやすいが、馬渡は付近に来ないと把握できない。整備により景観を良くする他、桜つつみの延長や植栽品種を増加させるとともに桜以外の植物の植樹も行う。



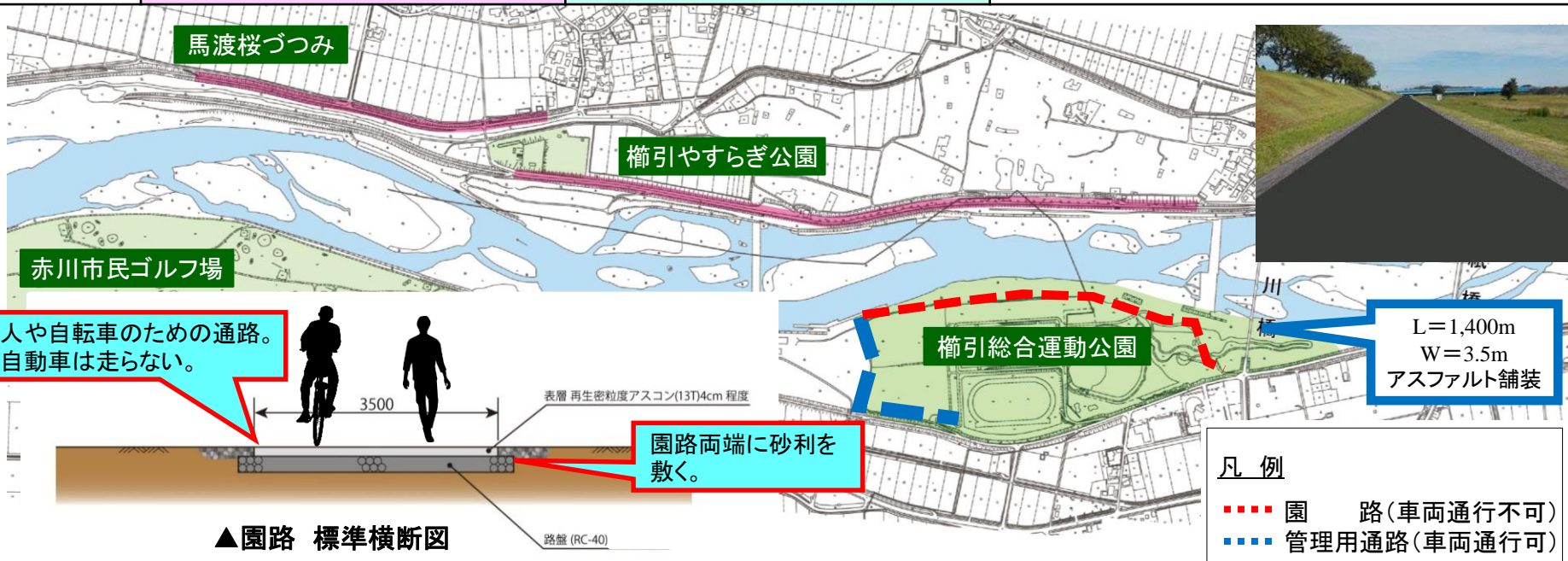
各施設の整備内容（櫛引総合運動公園）

園路(R8)

- 舗装及びかわへのアクセス向上を図る園路整備
- 車両進入防止のため、端部に車止めを設置する。

- 園路周辺の雑草対策で両端に砂利を敷く

市民意見			市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法
課題分類	課題内容	解決策や代替案	
位置、幅	全面舗装は不要	施工方法の区別	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量の少ない通路は砂利施工のみ。 ・色分け等を行い、歩行路へ遮熱材などを散布 ・交通量が増加に伴い事故の危険性も増加する。しかし、景観を考慮すると一概にフェンスが良しとも言えない。
舗装形式	出入口の利便性が悪い 駐車場までのアクセスが悪い	構造修正	
安全対策	熱中症対策が必要 ボール飛来事故のおそれ	車路と歩行路を明確に区別 フェンスの設置	



▲園路 標準横断面

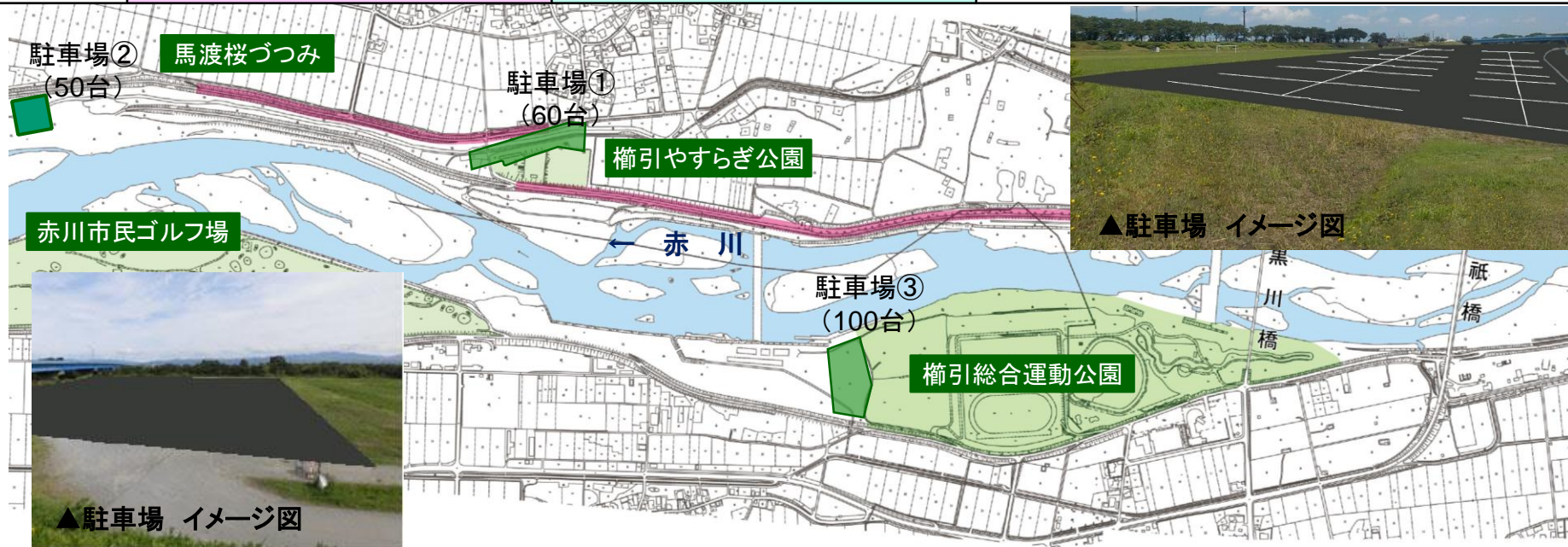
▲園路整備平面図

各施設の整備内容（馬渡、櫛引やすらぎ公園、櫛引総合運動公園）

駐車場(R8～)

●箇所数:3箇所 ●舗装形式:アスファルト舗装

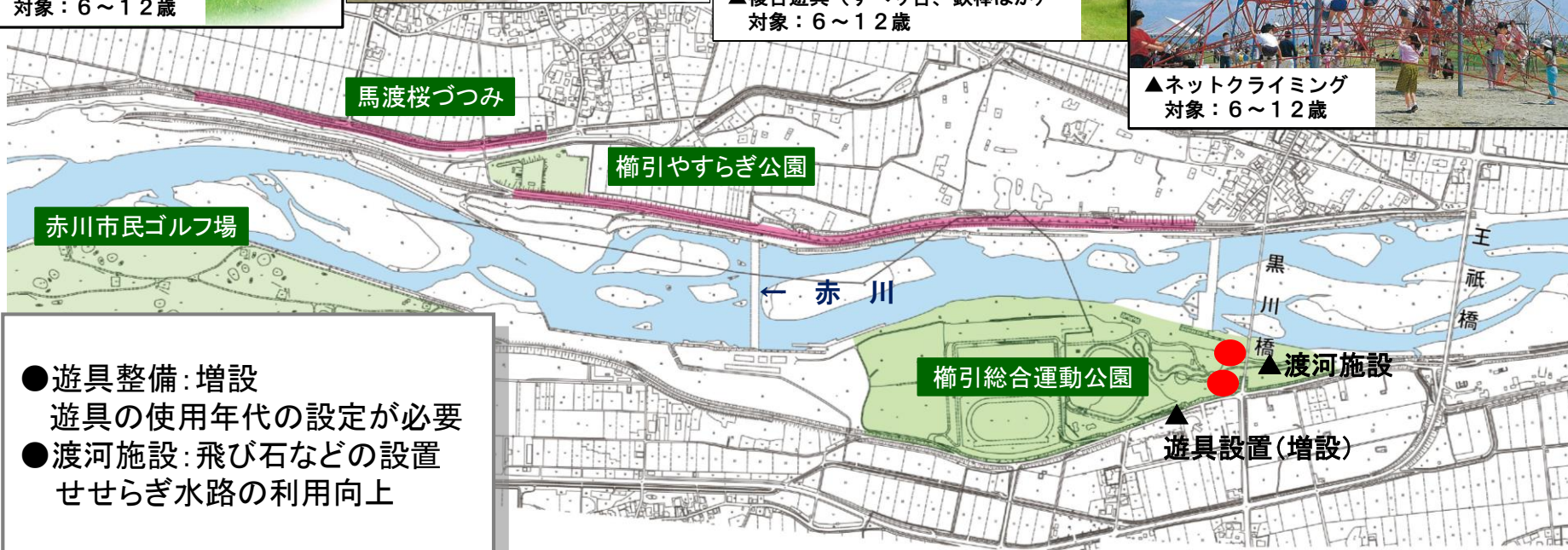
市民意見			市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法
課題分類	課題内容	解決策や代替案	
位置面積	①景観を損なう ②グランドゴルフ場横の駐車場の必要性がない	①駐車場からも桜づつみを一望できるように ②駐車場の導線上に遊具等の施設を設置 ③ 進入路の位置を考慮 する	・園路～駐車場への接続が悪く、利活用に不向きであるため、進入路は アクセス性を考慮 した位置や形状とする。 ・駐車場としても機能以外に「景観の良い場所」等の機能を持たせる。 ・駐車場の有効活用のため、導線上に施設の配置
複数用途	殺風景	駐車場近辺へ桜の木を植栽	



各施設の整備内容（櫛引総合運動公園）

遊具、渡河施設(R8～)

市民意見			市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法
課題分類	課題内容	解決策や代替案	
種類	対象年齢が児童用のみ	大人用遊具の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・アスレチック要素を含む遊具等の設置は安全性を考慮する必要がある。 ・耐用年数により計画的に更新する。 ・河川増水による渡河施設等への影響を考慮する。
安全対策	①経年劣化 ②河川増水時の対応	①定期点検、計画更新 ②可動式、救命具の設置	

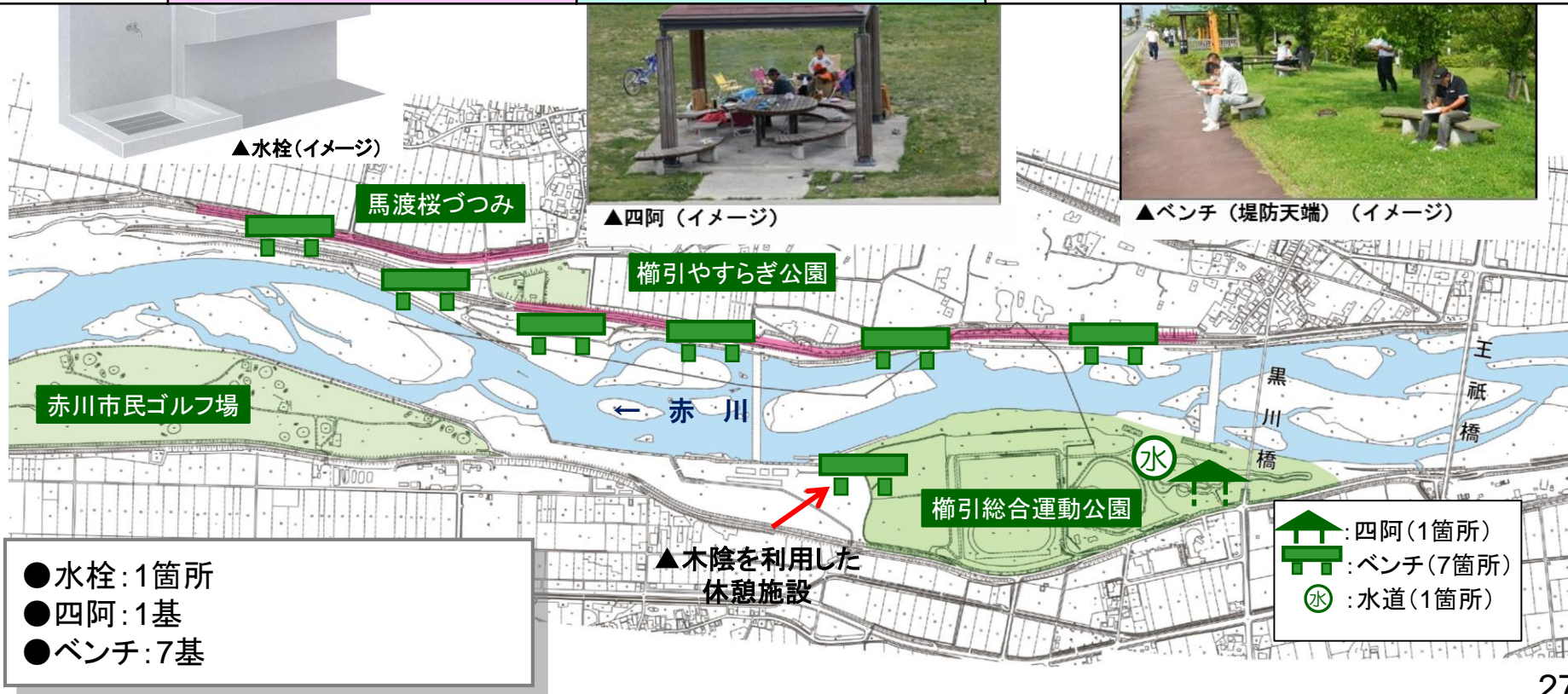


- 遊具整備：増設
遊具の使用年代の設定が必要
- 渡河施設：飛び石などの設置
せせらぎ水路の利用向上

各施設の整備内容 (馬渡、櫛引やすらぎ公園、櫛引総合運動公園)

水栓、四阿、ベンチ(R8～)

市民意見			市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法
課題分類	課題内容	解決策や代替案	
水栓(数)	左岸側に少ない	増設	<ul style="list-style-type: none"> ・水栓、ベンチの増設(左岸側) ・四阿内のパトロール、監視カメラの設置 ・四阿は隣接施設の利用状況を考慮した位置や規模を検討する。 ・ベンチは再生木材など耐久性に優れたベンチの設置を検討する。
四阿(維持管理)	ハチの巣や汚れ等の防除	監視カメラ、パトロール	
ベンチ	左岸側に少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・増設 ・木製ベンチ耐久性も考慮する 	



各施設の整備内容（櫛引やすらぎ公園）

トイレ(R9)

市民意見		
課題分類	課題内容	解決策や代替案
衛生面	定期的な清掃が必要	清掃業務委託(外注)
規格	1人しか使用できないと効率が悪い	2、3人が利用できるもの

市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法

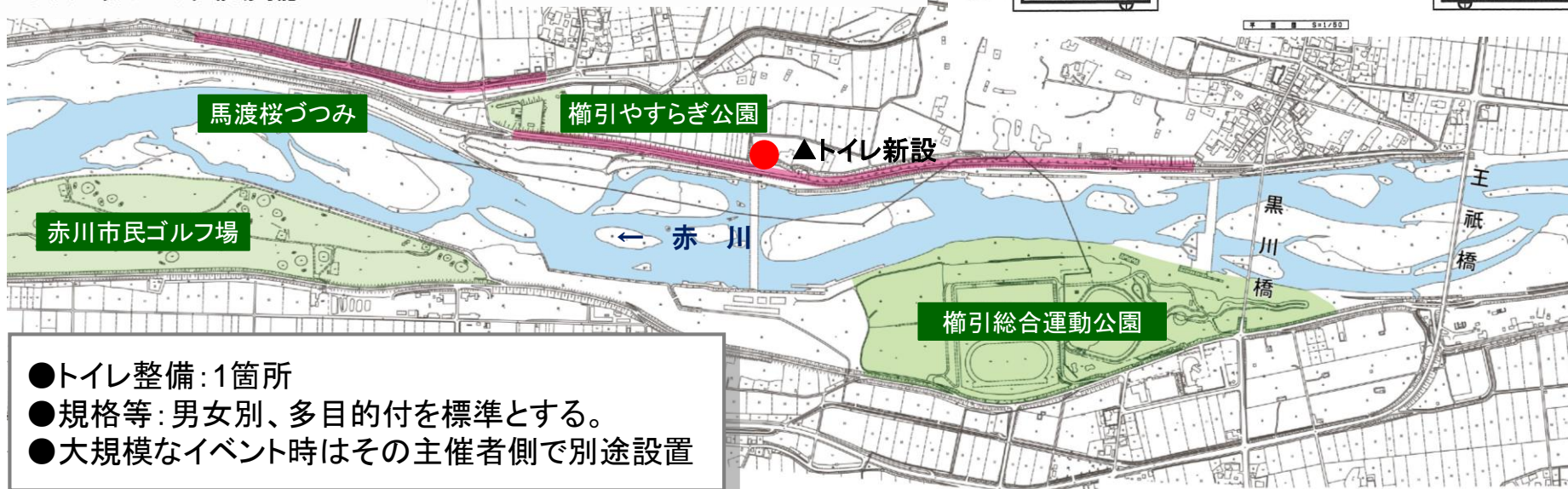
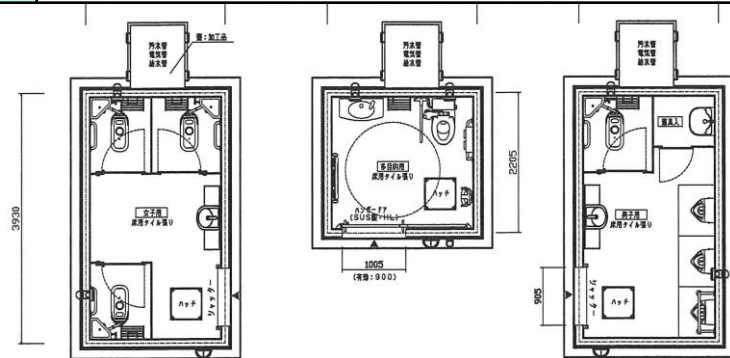
- ・清掃の外部委託
- ・複数人利用が可能な規格



▲トイレ（イメージ）移動可能



▲トイレ（イメージ）移動可能

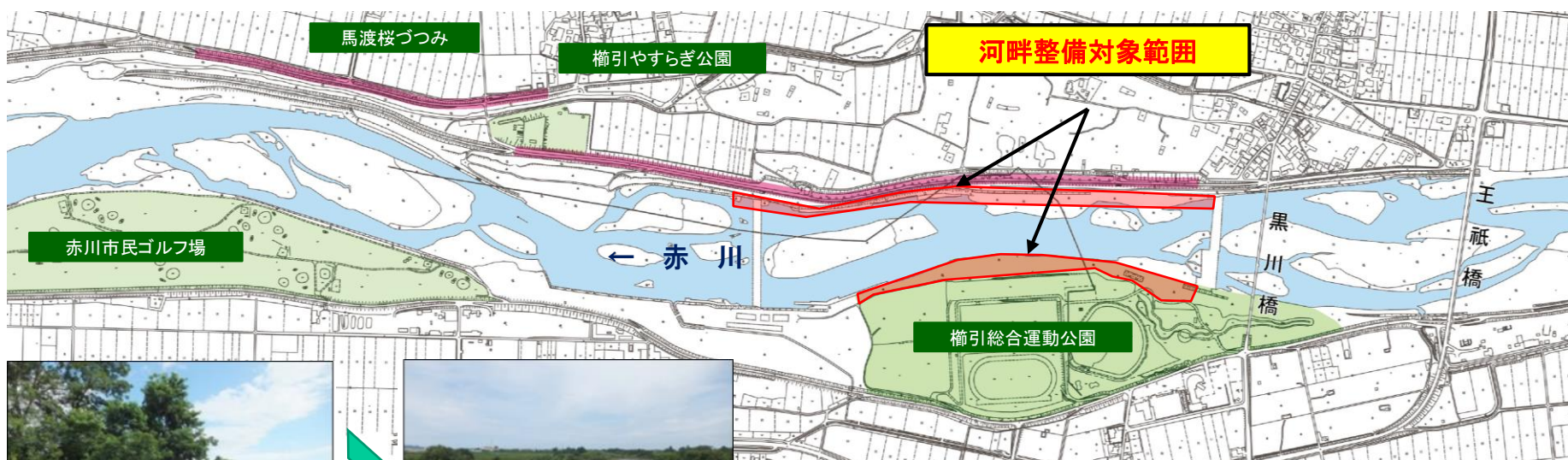


各施設の整備内容（赤川上流域 右岸・左岸）

河畔整備(R2～)

- 目的：川岸に繁茂している樹木を伐採し、川面の見える景観を回復し、親水性の向上を図る
- 範囲：A＝約66,000㎡
- 備考：生息・生育環境に配慮し伐採・抜根（猛禽類の営巣用として高木を残す）

市民意見			市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法
課題分類	課題内容	解決策や代替案・利活用	
伐採量	①川面をできるだけ見えるようにして欲しい ②景観上は100mおきに1本残すのではなく、複数本残すべき	①伐採範囲を広げる。 ②低木を含め、複数本残す。	①伐採範囲を再検討したい。 ②複数本まとめて残し、動植物に配慮した伐採を実施したい。



▲整備前（樹木の繁茂）

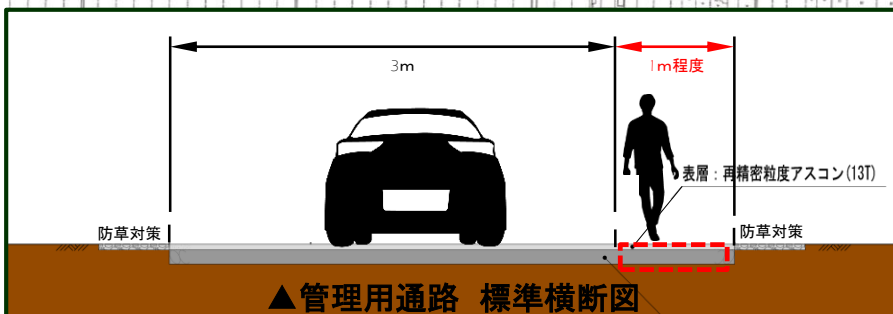
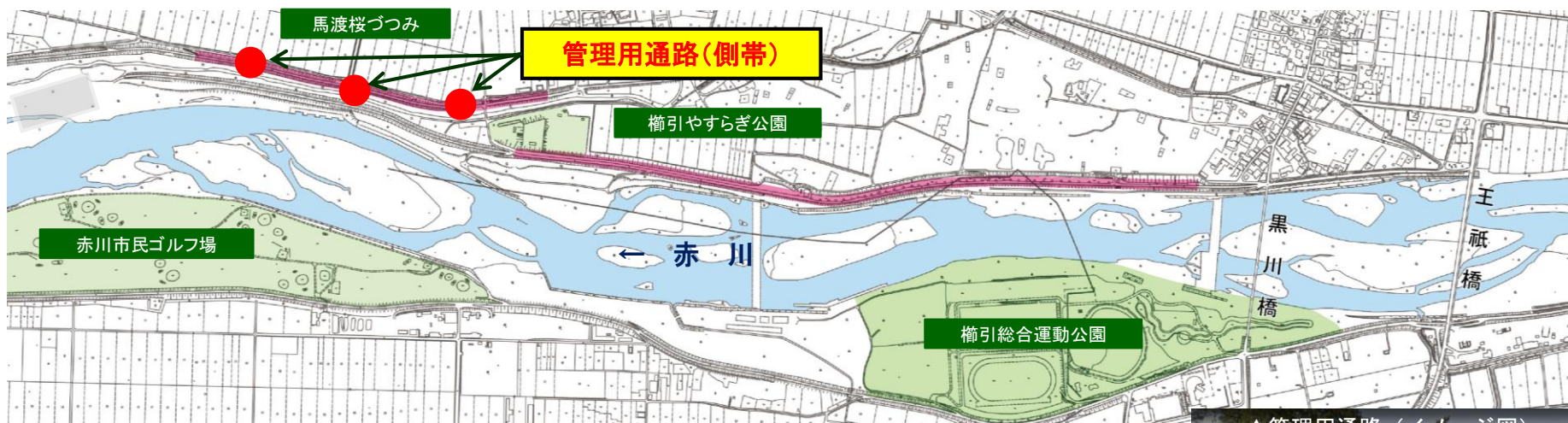


▲整備後（川面の見える景観）

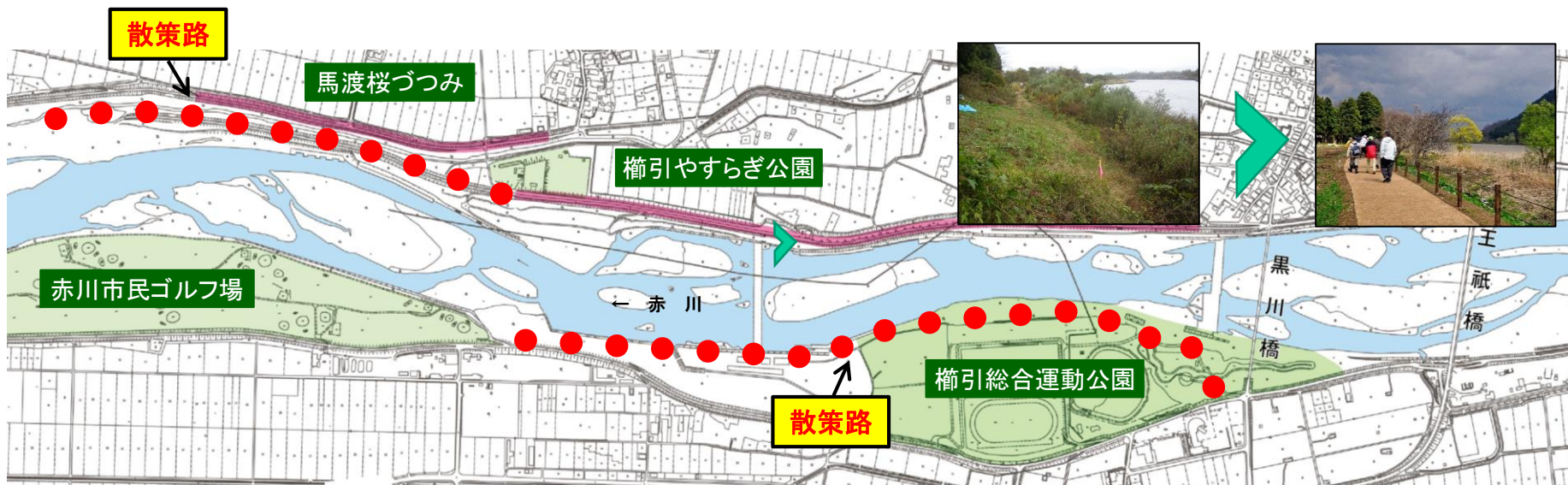
各施設の整備内容（赤川上流域 右岸）

管理用通路(側帯)(R7)

- 目的：車両・歩行者がすれ違う空間を管理用通路に確保する
- 内容：側帯の整備
- 箇所数：3箇所（100m間隔）
- 舗装形式：アスファルト舗装



- 目的：川岸を散策できる歩行者用の通路を整備
- 延長：L=約2,700m
- 通路幅：W=3.00m
- 舗装形式：アスファルト舗装



各施設の整備内容（赤川上流域 右岸）

堤防坂路・渡河施設(R7~)

1. 堤防坂路

- 目的：堤防道路と河川敷の円滑な往来
- 通路幅：W=4.0m
- 勾配：4%~8.5%
- 舗装形式：アスファルト舗装

2. 渡河施設

- 目的：馬渡川を渡河する橋の整備
- 構造：木橋（1箇所）

市民意見		市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法	
課題分類	課題内容	解決策や代替案・利活用	
位置	①現在の堤防坂路の設置案は、上流側からの進入は容易だが、下流側からの進入は困難。	①下流側からの進入も考慮した整備を行ってほしい。	①下流側から進入に対しても、通行に支障がないような坂路の構造を検討する。



▲堤防坂路（イメージ図）

▲渡河施設（イメージ図）
※高欄は要検討

各施設の整備内容（赤川上流域 左岸）

親水護岸・散策路(R7~)

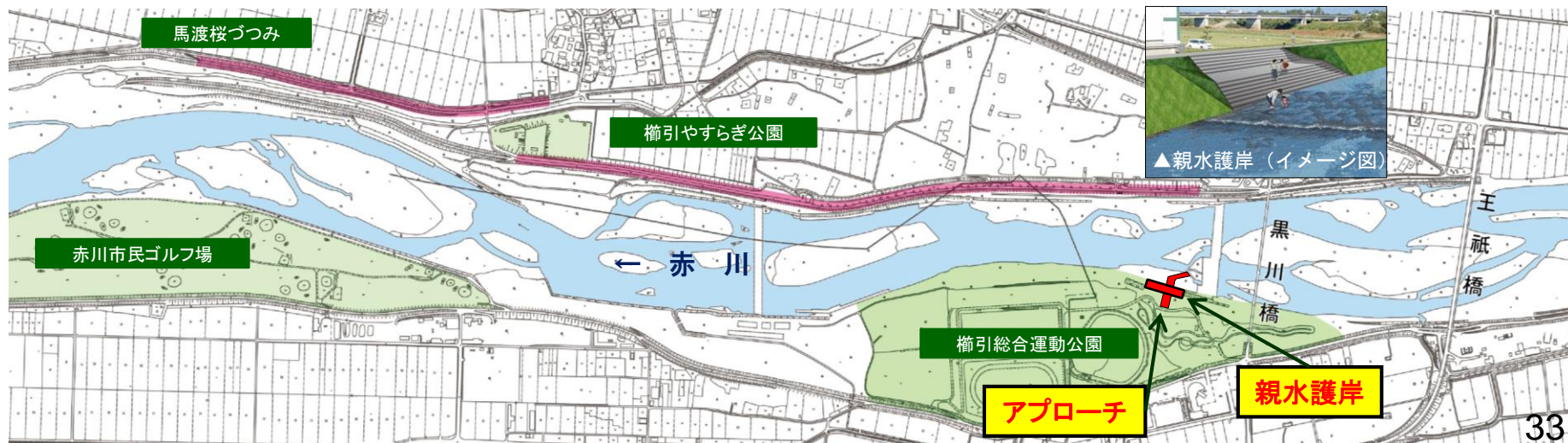
1. 親水護岸

- 目的：川へ近づける施設を整備し、親水性を向上
- 護岸幅：L=約30m（1箇所）
- 護岸構造：川岸まで安全に近づける構造とする

2. 散策路

- 目的：川岸への誘導
- 延長：L=約50m（1箇所）
- 通路幅：W=3.00m

市民意見			市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法
課題分類	課題内容	解決策や代替案・利活用	
安全対策	①親水性が増せば、危険も増えるため、安全対策が必要	①注意喚起看板、救命浮き輪の設置	①利用時の安全性を踏まえた親水護岸の構造や注意喚起看板、救命浮輪の設置を考慮し検討したい。 ②利用者の避難路を考慮し、接続する管理用通路を検討したい。 ③洪水の流下阻害、利用者の転落や滑落等の安全性の確保等の観点から、河川内への飛び石の設置は難しいと考えている。
その他	②親水護岸が整備されてもそこに行くまでにルートがないことがある。 ③対岸に行けるような工夫がほしい	②親水護岸に合わせ、アプローチ整備が必要。 ③飛び石、吊り橋など	

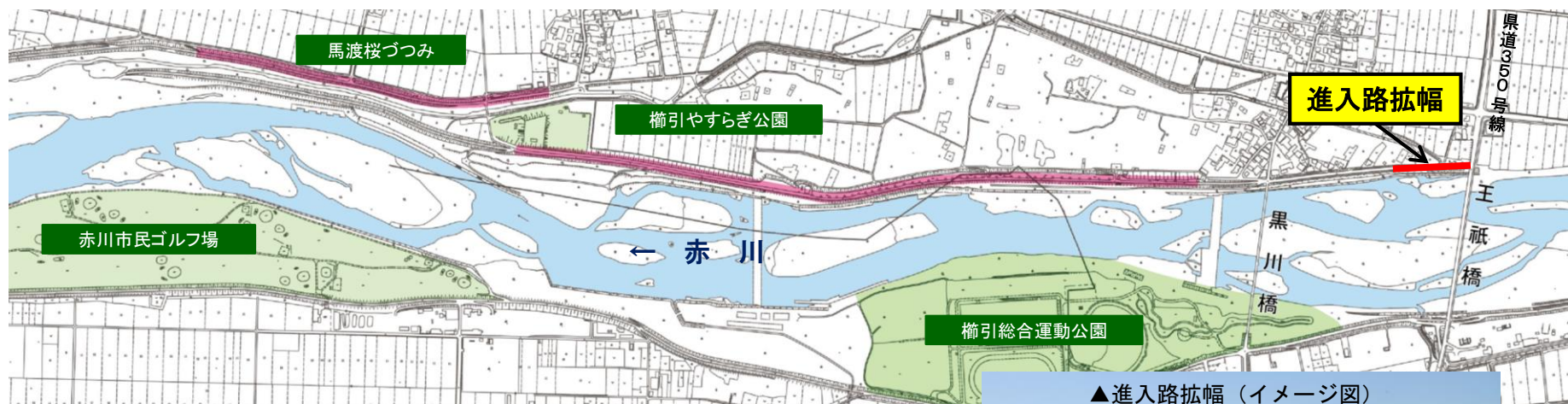


各施設の整備内容（赤川上流域 右岸）

進入路拡幅(R8)

- 内容：県道350号線王祇橋から堤防道路の入口を拡幅
- 目的：①櫛引やすらぎ公園等へのアクセス性向上
②車両・歩行者等の安全性確保
- 拡幅：W=0.5m~1.0m（1箇所）
- 舗装形式：アスファルト舗装

市民意見			市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法
課題分類	課題内容	解決策や代替案・利活用	
数	①1mの拡幅案は、容易に進入ができない。	①ロータリー的な構造にできないか。	①拡幅の用地確保が課題であり、鶴岡市と調整し検討したい。
その他	①河川公園の入り口に当たることから、シンボリックな整備ができないか。	①ポケット広場の整備を行う。	



進入路拡幅 標準横断面図



《参考資料》 鶴岡市赤川かわまちづくりワークショップ

意見一覧

- ・第1回ワークショップ P1～6
- ・第2回ワークショップ P7～12

第1回ワークショップのまとめ (1/6)

令和2年7月11日開催 赤川かわまちづくり第1回ワークショップのまとめ【下流域】

No	内容	整備項目	意見・理由等	考察	考察を踏まえた具体的整備案
1	整備位置について	遊具	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の間隔をもっと狭く ・親子の遊び場として集約 ・人が集まりやすいところ、使いやすいところ(駐車場付近)に集約 ・遊具はまとめて設置したほうが良い。点在して設置する理由が分からない。 ・遊具の間隔は広いが、サーキットラン的な利用や、コース設定をすることで様々な利用ができる。 ・できれば日影で運動したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の配置計画は、河川緑地を周遊するイメージとしていたが、現地で実際に配置を確認したことで、使いやすさを求める声が挙げられたものと考えられる。 ・遊具使用中にボールが飛んできたりすることも考えられるので、安心して遊べるようにやはりコンパクトに遊具エリアを設けたほうが子供にも目が届きやすいと考えられる。 ・運動を取入れながら遊具を利用していくとの意見が挙げられ、配置間隔については概ね理解を得られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・位置は芝生広場(現グラウンドゴルフ場)に集約 ・健康遊具を減らし、親子で遊べる遊具(ツリーハウス?)を設置 ・遊具エリアとして区画を設ける。トイレや水飲み場も近くに配置する。 ・周遊コース、ランニングコース等を考慮した配置 ・施設の周知、使用方法、利用方法等の案内看板の設置
		園路 管理用通路	<ul style="list-style-type: none"> ・各広場や駐車場との段差解消 ・木材チップ舗装などでアクセントを付ける(車と歩行者の区分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代が集まり、使いやすいようバリアフリーに関連した意見が挙げられたものと考えられる。 ・黒舗装だけでなく、歩車道の区分に伐採木を再利用したチップ舗装が挙げられたと考えられる。 	<p>【園路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各広場や駐車場との出入り口の段差解消(1~2箇所程度) ・管理用通路の歩行者区域を、伐採木を利用したチップ舗装 ・園路の一部をチップ舗装(w=1m) <p>【管理用通路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両が通ることから、耐久性を考慮し、アスファルト舗装を予定している。一部は意匠に配慮することも可能と思われる。
		階段 スロープ	<ul style="list-style-type: none"> ・橋以外からのアクセス経路を設ける(花鳥風月のT字路から) ・羽黒橋付近の新規階段工の整備箇所は、堤防道路を車両が通行することから、容易に道路に出れない工夫が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川緑地への進入経路がわかりにくく、メインとなるアクセス経路がないことから挙げられたものと考えられる。 ・整備後の利用形態を考慮して安全対策の観点から挙げられたものと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人や自転車等のアクセス向上を図るため「階段」と「スロープ」の設置を想定している。(詳細位置検討) ・車両通行への安全に配慮した構造を検討。
		河畔整備	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し伐採区域を広げる(三川橋上流まで) 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川緑地との連続性を持たせることから挙げられたものと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採は環境の有識者から意見聴取しながら進めていく。
		親水護岸	<ul style="list-style-type: none"> ・2箇所ある護岸整備箇所をつなげ、一体性を持たせる ・中州に行けるような整備(飛び石) 	<ul style="list-style-type: none"> ・親水護岸をつなげることで、利用促進と「かわ」への意識向上を図るため挙げられたものと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親水護岸同士が管理用通路で行き来できるように整備する。 ・飛び石は、洪水時における維持が難しく、また滑落などの危険性があるため、整備は予定していない。

第1回ワークショップのまとめ (2/6)

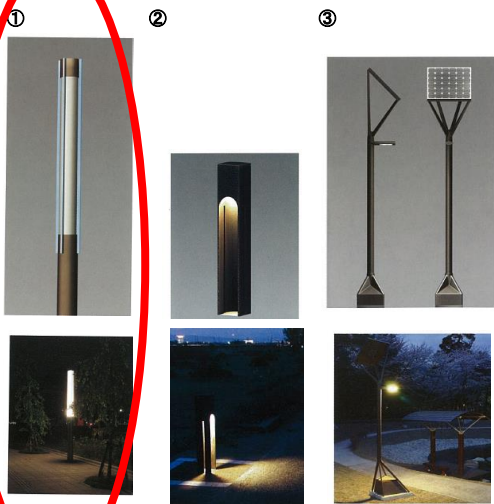
No	内容	整備項目	形式NO.	票数	意見・理由等	考察	考察を踏まえた具体的整備案
2	整備項目の形状(規格)について	照明灯	①	7	・照射範囲が広い ・照度が分からない	・低すぎると足元しか見えないのである程度高さがあり、照射範囲の広いものがよいと考えられる。 ・景観を損なわない外観、照度を検討する必要がある。	・照射範囲が広く、桜への影響の少ないポールタイプを設置する。
			②	1	・低すぎる		
			③	3	・災害時にも安心		
		ベンチ	①	5	・背もたれ付でゆっくりしたい	・背もたれのないベンチの方が多様な使い方ができる。 ・木製だと経年劣化が早い。 ・石は夏は暑くて座れない。 ・素材の選別については、慎重な検討が必要。	・緑地内に木陰を利用したサークルベンチ設置の検討も併せて必要。
			②				
			③				
			④	4			
			⑤	2			
		トイレ	①	4	・標準仕様としてふさわしい	男女別の方が望ましい。	・トイレの配置については、現在の位置が適当 ・利用頻度も考慮し配置。
			②				
			③	7			
		水栓	①		・多人数入れる	・利用形態に合わせた水栓の設置	
			②	7	・デザインが良い。低くて使いやすいそう		
			③	4	・辛煮やBBQでの使用を考えるとこの規模が必要		
			④				
		四阿	①	4		・全体的に日影が不足しているため、四阿の設置が望まれている	
			②				
			③	5	・広場にはある程度の規模の四阿が望ましい		
			④	2			

第1回ワークショップのまとめ (3/6)

No	内容	整備項目	票数	意見・理由等	考察	考察を踏まえた具体的整備案	
3	整備の順位について (国事業分)	河畔整備	1	川面が見えるようにしてほしい。	樹木により川面が隠されており、より身近に河川を感じらるよう要望があると思われる。	基本的に川面が見えるように伐採 を行う。鳥類や景観などへの配慮のため、高木を中心にを残す。	
		管理用通路	2	・上流域との連続性を持たせるため。	特に自転車など中長距離を移動をする場合に需要があると思われる。	自転車や人の動線を考慮し、一連で通行できるように 極力連続性を担保 する。	
		親水護岸	5	・安全対策を講じ、川を身近に感じるようにしたいため。 ・川と触れ合いたいから。	現状は、川岸に樹木が繁茂しており、気軽に水辺を見たり、触れたりすることができないため、要望の順位が高いと思われる。	樹木伐採と合わせ、 親水護岸を2箇所整備 する予定。	
		階段工	1	・観覧席として利用したい	グラウンドで行われる野球やサッカーなどの観戦用としても利用を考えているものと思われる。	階段機能に加え、 観覧席として機能するように、位置や規格を検討 する。	
		堤防坂路	1	・幅広い世代の利用向上のため	市街地側から堤防に上がるルートが限られており、特に車イスや高齢者にとっては、移動距離が長くなると負担になるため、できるだけ最短となるルートが求められているものと思われる。	堤防を上り下りできるように 新たに4箇所を整備 を予定している。	
		進入路拡幅	5	車で行く場合、堤防の出入口が狭いため、広げてほしい	左岸堤防の出入口が比較的狭いことから、国道345号および県道からの出入りがしづらいか、または車両のすれ違いの際に注意を要しているものと推察される。	河川区域内で可能な範囲を拡幅 する。	
		案内看板	1	・現状は利用者にやさしくないから。	・案内看板が不足しており、地域住民以外の利用はしづらい		
		駐車場	4	・利用性の向上が図られるため。	早期着手	他の整備項目や国の事業と調整を図る。	
		園路	2	・安全対策を講じてもらいたい。			
		照明灯	1	・利用性の向上が図られるため。			
		広場	3	・ドックランなどに利用したいため。	・広い屋外空間の多目的利用	開放的な空間 となるように配慮	
		四阿					
		ベンチ	1	・休憩できるだけで親しみが持てるから。			
トイレ		2					
水栓							
遊具	1	・配置を検討して ・視点は親子					
レンタサイクル							
4	その他の意見等 (NO.1～NO.3以外)						
	・整備されることが認知されておらず、情報発信不足を感じる。						

第1回ワークショップのまとめ (4/6)

【照明灯】



ポール式照明灯
H=3.65m

フットライト照明灯
H=0.70m

スマートフォン・携帯電話の非常用電源としても活用
照明灯のバックライトは非常用電源利用可能。充電・充電完了時にLED表示で
てお知らせできます。充電中は液晶のバックライトが非常用の充電タームとして、ス
マートフォンや携帯電話の充電に役立ちます。



ソーラー式照明灯
H=4.30m

【ベンチ】



FL001A-CS-NA-RD



ベンチ 基本寸法
W400×L1500×H400



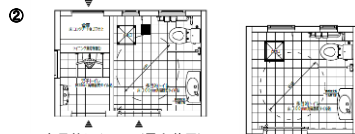
SF-18001K2
縁台型ベンチ
□1200×1200

整備項目の形状イメージ

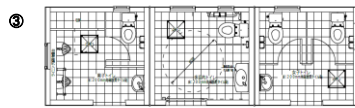
【トイレ】



多目的トイレ×1
男子トイレ×1(小便器+大便器)
女子トイレ×1



多目的トイレ×1(男女兼用)
男子トイレ×1(小便器のみ) 多目的トイレ×1(男女兼用)



多目的トイレ×1
男子トイレ×1(小便器2+大便器) 女子トイレ×1(大便器2)



オストイレM20-イレバック UA854LPB
ペビシートYKA25
ペビシートYKA13

【水栓】



【四阿】



□3500×3500



□3000×3000



□3000×6000



□3000×9000

第1回ワークショップのまとめ (5/6)

令和2年7月11日開催 赤川かわまちづくり第1回ワークショップのまとめ【上流域】

No	工種	市民意見		市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法
		課題分類	課題内容	
1	園路	位置、幅	園路内すべて舗装するのか。車路歩路以上に幅がある通路はすべて舗装するのか。	交通量が少ない通路は砂利施工のまま
		舗装形式	Rがきつく出入口付近は利便性が悪く、駐車場までのアクセスも悪い。	構造修正
		安全対策	①アスファルト舗装時の歩行者・自転車の暑さ対策 ②赤川市民ゴルフ場付近の交通が増えれば事故が増える	①車路と歩路の色分けなどを行い、遮熱材などを散布 ②ゴルフボールが飛んでこないようにするためにはフェンスが良いと考えられるが、現実的ではない。
2	駐車場	位置・面積	①桜つつみも景観を壊さないように整備 ②グランドゴルフ場横に駐車場が整備予定となっているが、必要性に疑問を感じる。(周辺の駐車場すべてが埋まるのは年に数回程度ではないか)	①駐車場からも桜つつみが見れると良い。 ②駐車場の導線上に遊具等の施設を設置する。
		複数用途	殺風景	駐車場内にも桜の木を植えてみては
3	広場	用途	中州や床止へも接続	広場から川辺まで整備
4	古木更新	内容	①景観維持及び向上 ②対岸から見えない	①広場や駐車場と関連するが、整備にあたり景観が損なわれてしまうことがないように注意 ②どこからでも見えるように古木更新と護岸整備
5	看板	維持管理	経年劣化で文字が見えにくくなる。	定期的に更新する。 耐候性の特殊プリントにする。
		内容	子どもやお年寄りだとわかりにくい。	大人用と別に子ども向けの内容の看板を設置する。日本語(簡易な言葉)を使う。 QRコードを入れてWebサイトに誘導する。 上流と下流を一緒に表示する。 距離も表示する。

第1回ワークショップのまとめ (6/6)

No	工種	市民意見			市民意見を踏まえた整備案と維持管理の手法
		課題分類	課題内容	解決策や代替案・利活用	
6	トイレ	衛生面 規格	衛生面、清掃	定期的な清掃を外部に委託する。 2、3人が使える大きさにする。	・清掃の外部委託 ・個室を3室整備
7	水栓	数	対岸に対して少ない。	増設する。	・左岸における 水栓及びベンチの増設 ・四阿の監視カメラ設置、定期的なパトロール
	四阿	維持管理	四阿内のごみや汚れ、ハチの巣等の管理。	定期的なパトロールを行う。監視カメラを設置する。	
	ベンチ	数	対岸に対して少ない。	増設する。	
8	遊具・渡河施設(市)	種類	一般的な遊具は6~12歳の児童しか使用できない。	12歳以上(大人含む)も使用できる遊具(アスレチック)を設置する。	・ アスレチック 要素を含む遊具等の設置は 安全性を考慮 する必要がある ・ 定期的な点検と計画的な更新 ・河川増水による渡河施設等への影響を考慮する。
		安全対策	①遊具の経年劣化、安全対策。 ②川増水時の管理	①管理者を設定する。定期点検を行う。遊具更新を前提とした予算措置。安全利用についての看板を設置する。 ②可動式のものにする。救命具を設置する。(→子供が救命具で遊んでしまわないか)	
9	河畔整備	伐採量	①川面をできるだけ見えるようにしてほしい ②景観上は100mおきに1本残すのではなく、複数本残すべき	①伐採範囲を広げる ②低木を含め、複数本残す	①鳥類などの環境へ配慮を行いながら、 極力伐採範囲を広げる ことを検討。 ②現場状況を考慮して検討。
10	管理用通路	舗装形式	①待避所の幅員は1mでは狭い ②待避所3箇所は少ない (③案内看板を設置してほしい。)	①幅員は1mよりも広げてほしい ②待避所を3箇所以上に増やす	① 桜並木に影響しないことを前提に検討 ②同上 ③(市案件)
11	親水護岸	動員	・管理不足になりがちなため、維持管理の労力の確保が必要	・グラウンド等の使用後に合わせ、清掃して貰う仕組みを整える。	・国、市、関係団体の3者で、今後の 維持管理の協定締結を目指していく 。 ・ 国、市で調整する 。 (河川は自由使用が基本であり、安全対策は通常実施していない。ダム放流の注意喚起看板は設置している。)
		安全対策	・親水性が増せば、危険も増えるため、安全対策が必要	・注意喚起看板、救命浮き輪の設置	
		その他	①親水護岸が整備されてもそこに行くまでにルートがないことがある。 ②対岸に行けるような工夫がほしい	①親水護岸に合わせ、アプローチ整備が必要。 ②飛び石、吊り橋など	
12	散策路	舗装形式	アスファルト舗装は殺風景になってしまう。	色、テクスチャー、素材を十分に考慮してほしい。	駐車場から馬渡桜堤までの 人の動線を確認した上で、整備を検討 する。整備する場合は、維持管理のしやすさを考慮。 国、市、管理団体で調整 する。
		その他	桜開花時以外は散策の楽しみが少ない。	花などの植樹をしてほしい	
13	堤防坂路・渡河施設	位置	現在の堤防坂路の設置案は、上流側からの進入は容易だが、下流側からの進入は困難。	下流側からの進入も考慮した整備を行ってほしい	下流側からの通行には、旋回スペースを十分に確保 することで対応を予定。
14	進入路拡幅	数	1mの拡幅案は、容易に進入ができない。	ロータリー的な構造にできないか	国、市で調整 を行う。(河川区域内が整備可能な範囲)
		その他	河川公園の入り口に当たることから、シンポル的な整備ができないか。	ポケット広場の整備を行う	

第2回ワークショップのまとめ (1/6)

令和2年10月20日開催 赤川かわまちづくり第2回ワークショップのまとめ【整備計画案(下流域)】

No	工種	市民意見等			市民意見を踏まえた整備計画(案)の考察
		課題分類	整備計画(案)に関する質問	整備計画(案)に関する意見・感想	
1	園路	健康増進	ランニングコースの記載があるが、そもそも健康増進活動を行っているのか？		現在は行っていないため、今後、PRも含め検討する。
		維持管理		周辺を防草シートで覆って管理コストの軽減を図った方がよい。	管理コストも考慮し、整備内容を検討する。
2	駐車場	安全対策		現在も駐車場への夜間駐車は多く、防犯上照明灯の設置は必要である。	防犯対策も含めて、照明灯の設置を検討する。
		利活用	駐車場と臨時駐車場の違いは？		イベントなどで通常の駐車場だけでは収容できない場合に、使用する駐車場が臨時駐車場として定義付けをしている。
3	広場	維持管理	グラウンドの質を向上できないか？(水はけや土の質、草等)		水はけについては、川辺なので川の増水等に際してはやむを得ない場合もあるが、土の入替等、可能な範囲で有効な維持管理に努める。
		安全対策		子供広場、自由広場をソフトボールで使用しているが、河川との段差があるためボールが川の中に落ちることがあるので、低いフェンス等設置してほしい。	
4	トイレ	維持管理		トイレの床が濡れていると不快に感じる。	適切な維持管理体制を検討する。
		配置	利用頻度、形態を考慮するとはどういうことか？		スポーツ団体やいもに会などの利用状況等を考慮した上での配置や規格(形態)としている。
5	水栓	維持管理		いつも清潔に使用できるように適切な維持管理が必要である。	適切な維持管理体制を検討する。
		配置	利用頻度、形態を考慮するとはどういうことか？		スポーツ団体やいもに会などの利用状況等を考慮した上での配置や規格(形態)としている。
6	ベンチ	素材	木陰に木製のベンチを設置した場合の耐久性はどのようになるのか？		再生木材など耐久性に優れたベンチの設置を検討する。
7	遊具	規格、設置		グラウンドへの設置は良いと思う。種類については近隣にジム経営をしている専門家もいるので意見聴取をした方がいい。	
8	レンタサイクルポート	仕様		年配の方も利用できるように電動自転車も配置	使用年代に応じた自転車の配置を検討する。
9	河畔整備	環境		一般的には雑木林と見えるが実際は希少動物の住処となっているので、事前に調査を十分に行いきちんと公表した上で整備範囲を決めるべき。	有識者への意見照会や河川環境情報図等で確認を行いながら実施。

第2回ワークショップのまとめ (2/6)

No	工種	市民意見等			市民意見を踏まえた整備計画(案)の考察		
		課題分類	整備計画(案)に関する質問	整備計画(案)に関する意見・感想		その他	
10	親水護岸	安全対策		・河川堤防から親水護岸までの距離があるので、 利用者の安全管理手法 を検討した方がよい。 ・ 川魚 や 水質維持 のために川の中の整備も必要。		人の 動線を考慮し 、 安全に配慮 した構造設計を関係者で行う。	
11	階段工	安全対策		羽黒橋側の階段工は車と 人の接触を防止 するため、ハーフ型が良いのではないかと。			
12	堤防坂路	整備	T字路交差点から自動車の進入可能を想定しているのか？(駐車場③付近)			堤防から河川緑地までのスロープの整備を予定しており、自動車の進入は予定していない。	
13	進入路拡幅	アクセス	羽黒橋側から駐車場への アクセスが悪い が現状で満足と考えているのか？				
13	桜ハウス	利活用		赤川に住む魚の展示場 を設けてはどうか。		交流拠点としての利活用 を検討する。	
14	親水エリア	内水面		川鮭のうらいの整備 をしてほしい。		利活用として 魚を直接見て触れあえる施設 の整備を検討する。	
		安全対策		入水の危険がある部分に 立入防止柵やネットの設置 は必要ではないかと。			
15	その他	環境		去年の伐採により景観が良くなったが、一方で 動植物への配慮 も必要。		動植物に配慮しながら整備 を実施する。	
		維持管理			・種をまくだけで生育管理が容易なコスモスや芝桜を グラウンドカバー として植えてはどうか。 ・河川愛護デーのように、市が主体して清掃イベントを実施してみんなで管理するという意識を持たせる。		
		周知			・赤川河川緑地に 利用方法や使い方の周知 をすべき。 ・HPやFB等で 催事を確認 できるようにするとともに、更新も適切に行い情報の精度向上に努めてほしい。		
		既存施設			・周辺環境だけでなく、 グラウンド等の既存施設の整備 を行えば使いやすさも向上でき、大会の誘致などできる。 ・使用目的があり利用した際、想像以上に利用者がいたため、 現状のままでも良い のではないかと感じた。		
					今ある設備で活用するものと、廃止するものを表示すると分かりやすい。		
		安全対策			緊急通報システム等の整備 が必要である。		

第2回ワークショップのまとめ (3/6)

令和2年10月20日開催 赤川かわまちづくり第2回ワークショップのまとめ【整備計画案(上流域)】

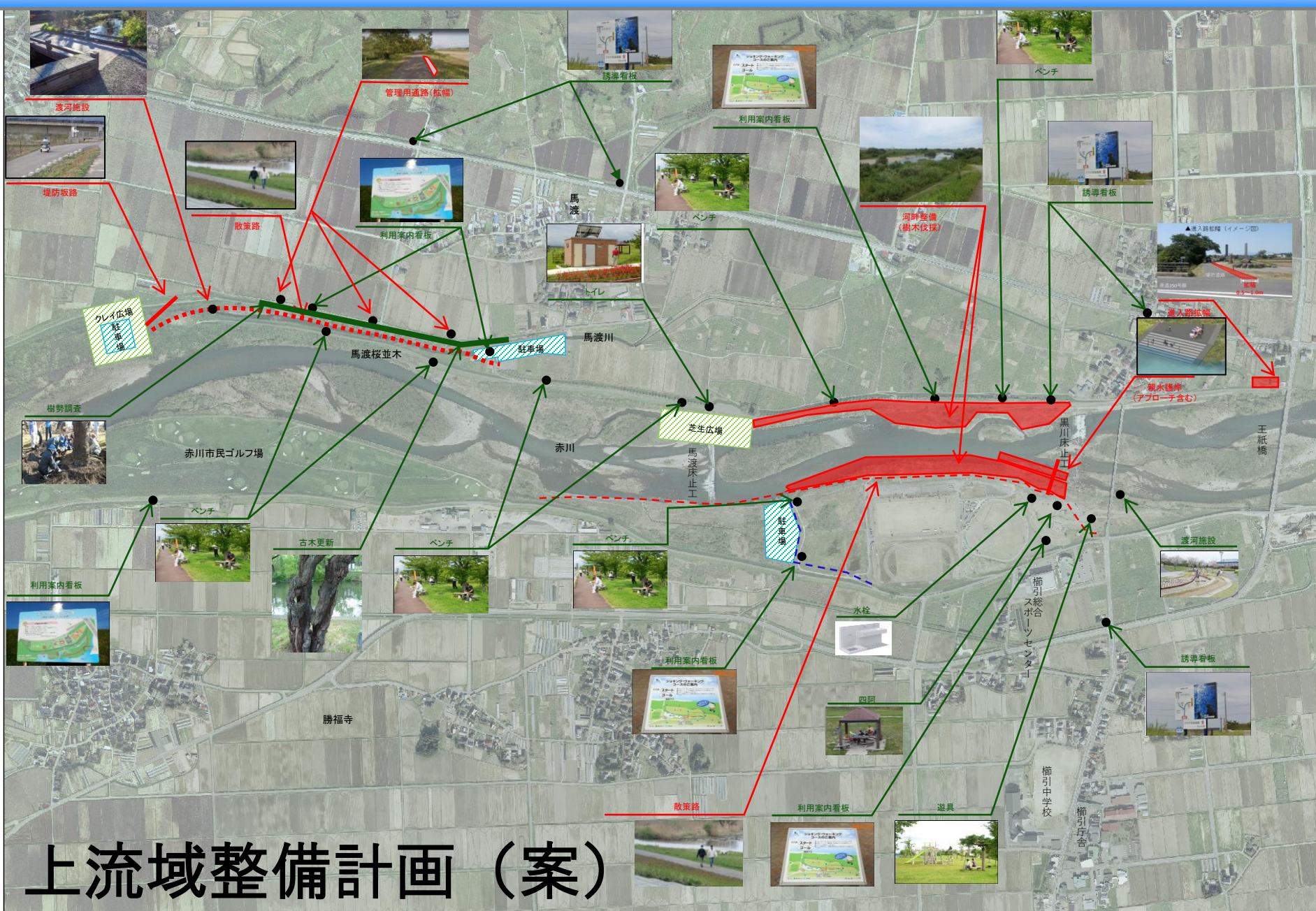
No	工種	市民意見等			市民意見を踏まえた整備計画(案)の考察
		課題分類	整備計画(案)に関する質問	整備計画(案)に関する意見・感想	
1	駐車場	位置		馬渡川と駐車場や 進入路の位置を考慮	進入路は アクセス性を考慮した 位置や形状とする。
2	古木更新	樹種		支障木の伐採と、新たに植樹する品種の検討。 桜以外の植物 の植樹。	
3	四阿	位置	南駐車場付近に東屋があるが、 なべっこ広場にも必要なのか？		隣接施設の 利用状況を考慮し 位置や規模を検討する。
4	ベンチ	素材	木陰に木製のベンチを設置した場合の耐久性はどのようになるのか？		再生木材など耐久性に優れた ベンチの設置を検討する。
5	管理用通路	整備(拡幅)		すれ違い走行が可能でも道幅は狭く感じるので 道路拡幅 を	桜並木の位置関係を考慮し 、検討する。
			馬渡桜づつみ 駐車場までの管理道 について拡幅等の予定はあるか？		
6	親水護岸	安全対策		① 中州まで行ける ようにするとのことだが、安全対策が必要である。 ② 熊が出没 するが安全対策 ③周辺だけでなく、 河川内部の整備	関係者と調整する。
7	進入路拡幅	整備(拡幅)	王祇橋からの進入路の拡幅は？		国管理部分と土地改良区の管理部分とがあるため、酒田河川国道事務所と赤川土地改良区とで、 右岸側の進入路にある石碑も含め調整 が必要となる。
8	その他	利活用	利用者はどのくらいを想定しているのか。		
		維持管理			やすらぎ公園の維持管理のために機械を貸与 できないか。

第2回ワークショップのまとめ (4/6)

下流域整備計画 (案)



第2回ワークショップのまとめ (5/6)



上流域整備計画 (案)

第2回ワークショップのまとめ (6/6)

◆調査期間：令和2年9月中旬～10月中旬

◆回収数：9票（配布34票 回収率26%）※回収率はかなり低い結果となった。

1. 回答者の属性

・教育関連団体	4団体
・利用団体	2団体
・建設関連団体	2団体
・地域団体	1団体

2. かわまちづくりの認知度（かわまちを知っている構成員の割合）

・7～8割知っている	2団体
・5割程度知っている	1団体
・2～3割知っている	2団体
・ほとんど知らない	4団体

3. 実行組織への参画

・ぜひ参画したい	0
・参画は可能	4団体（参考意見：組織内への声掛け程度はできる）
・参画は困難	4団体（参考意見：所属している組織の目的と相違があり難しい）
・参画できない	1団体

4. その他の意見

- ・各組織ごとに周知してもらう（>教育→小中高校 >体育→体協、スポ少 >広報誌掲載等）
- ・教育課程への組み込みは少し難しいかと思う。スポ少や地域子供会など多方面からのアプローチが必要
- ・出前講座のメニューなどあれば、カリキュラムマネジメントの参考になると思う。
- ・川での出前講座の企画と、移動等への支援をいただけるとありがたい。
- ・若年層家族が行きたくなる整備を中心に。
- ・増水の危険もあることから、注意事項などの周知徹底。
- ・維持管理について、行政・市民の役割を明確にして参画の体制をつくるべき。
- ・親水に関連した事業にも取り組みたいと考えている。市側と連携していければ。
- ・維持管理のための草刈機械の貸与の検討。
- ・桜並木と果樹の病害虫の因果関係の調査。